



警視庁特車二課第2小隊所属
パトレイバー篠原重工98式AV
「WXIII版イングラム2号機」
1/35スケール マスターグレードモデル
点滅式パトランプLED電飾ユニット付



WXIII

PATLABOR THE MOVIE 3



P21C
PATLABOR 2001

警視庁

特車二課第2小隊

篠原 ⑨ 重工

PATLABOR Shinohara AV-98

INGRAM2

PATLAMP FLASH UNIT

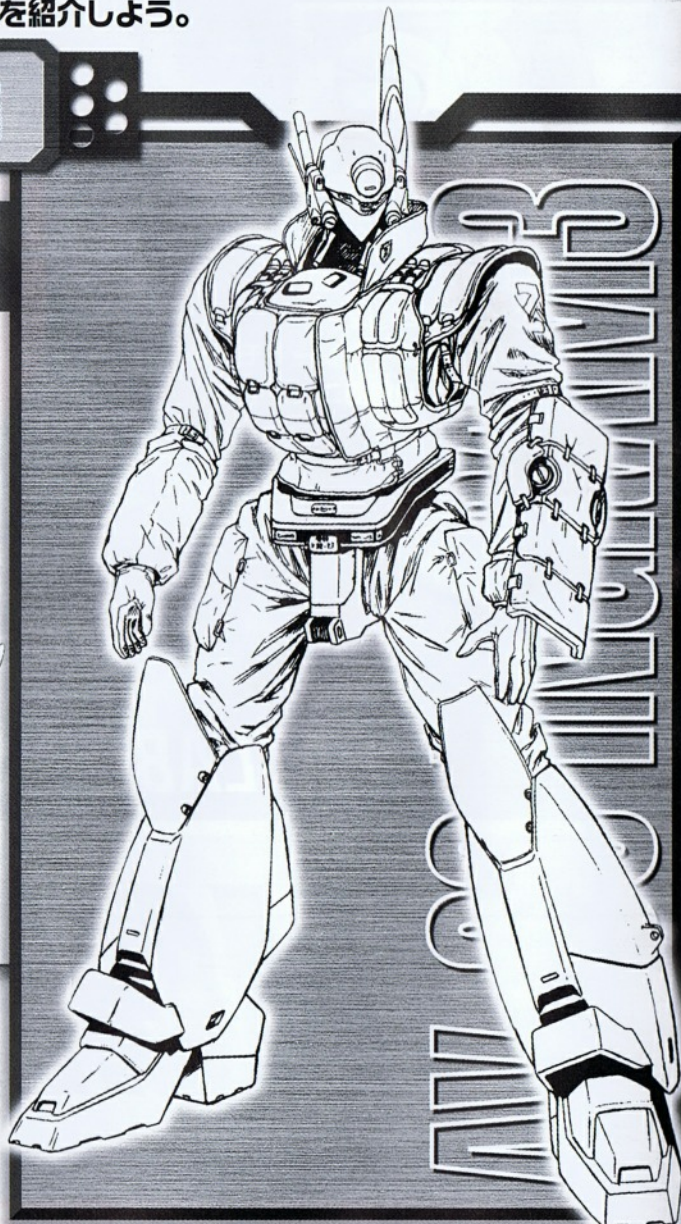
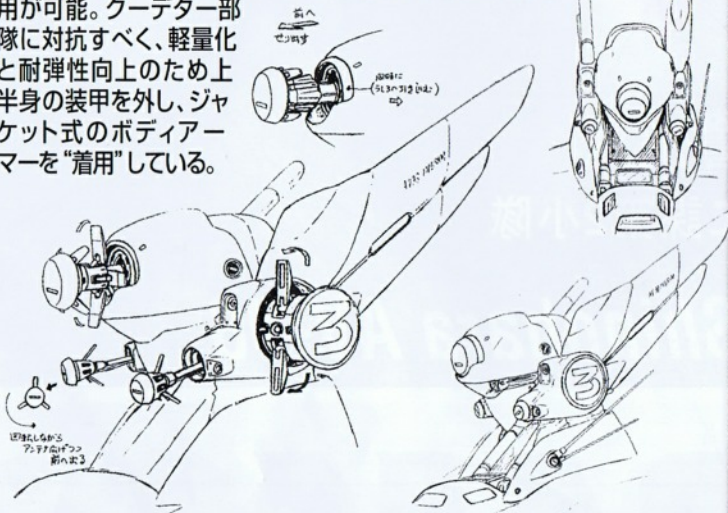


LABOR CATALOG

○レイバーカタログ○

AV-98式パトレイバーイングラム3号機 ボディアーマー装備

劇場版「PATLABOR 2」に登場。TV版の3号機と異なり、頭部に展開式のジャミングボッドが装備されており、無線誘導や通信などを阻害するジャミングなどのECM機としての運用が可能。クーデター部隊に対抗すべく、軽量化と耐弾性向上のため上半身の装甲を外し、ジャケット式のボディアーマーを“着用”している。



AV-XO ZERO 零式AVパトレイバー

劇場版「PATLABOR」にAV-98式の発展型として登場。2000年の配備を予定していた。イングラムと比べて戦闘・格闘能力が高く、腕部の伸縮機構は“貫手”という打突武装としても使用可能。バビロンプロジェクトの中枢“箱舟”を巡る事故で暴走し、野明が乗るイングラム1号機と死闘を繰り広げる。



SPEC

全 高:8.32m
全 幅:4.51m
乾燥重量:6.12t
装備重量:6.98t
最大起重:3.2t
最小回転半径:3.20m
装甲材質:CFRP、FRM
オプション:大型専用シールド、スタン・スティック

SCOOP

真犯人はバイオモンスターだった!?

犯人の全員射殺という、すさまじい結末を迎えた「イバー連続襲撃事件」だが、実はまったく別の真相が隠れているとの噂がインターネットを中心として流されているのを存じただろうか?

事件の概要はこうだ。今年4月中旬以降、東京湾沿岸において、夜間作業中のレイバーが立て続けに襲撃されるという事件が頻発した。当初、警察は事件と事故の両面から捜査をすすめていたが、連の被害が東京のみならず神奈川県、千葉にも及んだため、警視庁と両県警による合同対策本部が設置された。その後、港湾施設や飲食店などにも被害が及ぶに至り、犯人はレイバーのほかに生物、化学兵器などを装備する無差別テロリストグループであると特定された。そして今年2日、大規模な包囲網を展開した警察は、レイバーで武装したテロリストグループを解体、間近の東京ベイスタジアムへと追いつき、激しい銃撃

戦を展開された結果、容疑者5名を全員射殺したとされている。当日は、新海地区を中心とする現場付近帯に交通規制と異例の灯火管制が敷かれたため、記憶の方も多かったろう。しかし、交通規制はともかく灯火管制の必要性は当時から疑問視されていた。また、事件発生当初から、実行犯をめぐる証言の中に謎の生物の存在が見え隠れしていたのも事実であった。そこへ持ってきて、ここに



この映像は、とあるゴシップサイトにアップロードされていた画像。海外のプロバイダを経由していたため発信者は不明だが、「WASTE13」(WASTEは廃棄物の意とのタイトルが添えられていた)。

掲載した写真(CG説もアリ)がどこからともなくネット上に現れた。そして現在、いわゆる「事件の真相」の噂がネット上を駆け巡っている。

内容は、「特車二課のほか陸自のレイバーも動員されていた」「現場で自衛隊の戦闘ありを目撃した」「公表されたテロ犯はデッチ上げ」「真犯人は米軍と自衛隊が共同開発していた生物兵器だ」等々。

不可解なのは、国内ではこれらの発言のほとんどが揭示から数日以内にデリートされていることだ。また、当J-WATCH編集者が独自に入手した情報によれば、連の事件には4月初旬の米輸送機の墜落事故や、同月下旬頃に話題となった巨大魚の大発生なども関連していると言ふ。加えて、一部には重大なバイオハザードを懸念する声もある。警察は冒頭の顛末をして事件の解決を宣言しているが、果たしてその真相はいかに?ともあれ、あまりにもキナクさいこの事件。本誌も可能な限り追跡調査を続行する予定である。

2号機どの、殿中でござる!?



21日午後9時頃、大田区蒲田の工業地帯でレイバーの立てこもり事件が発生。特車二課の迅速な対応で、約50分のスピード解決となった。

手をあげて

横断歩道をわたるつね!!

全国交通安全週間

警視庁

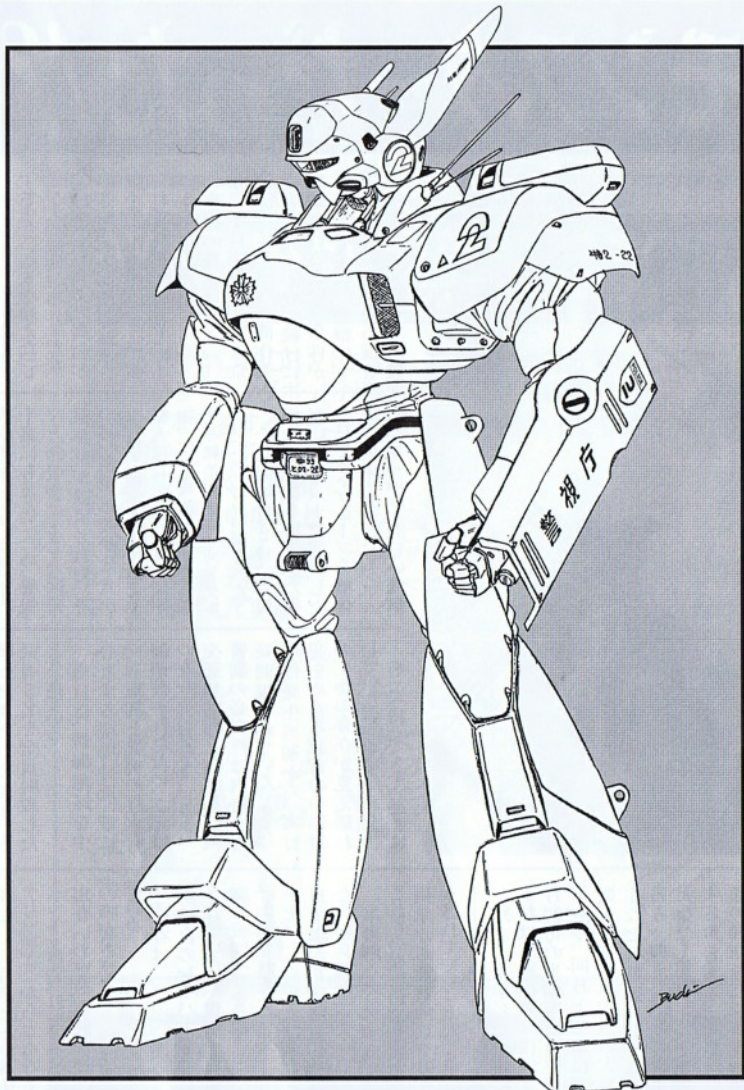
21日午後9時頃、大田区南蒲田五丁目目の株式会社七星工業集荷配送用倉庫に作業用レイバーが立てこもり、およそ30分にわたって同倉庫を占拠したが、間もなく駆けつけた特車二課第2小隊のパトレイバーによって鎮圧された。

犯人の富山高延容疑者(26)は、現場付近の谷川護岸改修工事現場より菱井インダストリー製の作業用レイバーHL-97(通称ブルドッグ)を盗み出し、無免許にも関わらず同レイバーを乗り回すうちに、運転を誤って七星工業の倉庫に突っ込み、そのまま同社の配達寸前の製品を盾に居すわった。

通報を受けた特車二課は第2小隊を現場に派遣し、2機のイングラムが事態の收拾のため出動した。その間、富山容疑者は、自分の取引先の担当者の誹謗中傷やトラフ告発などを繰り返して、仕事上のストレスからこのような凶行に及んだ事をレイバーの拡声器を使って訴え続けたという。

ところが、現場に到着した第2小隊のレイバーを見たとき、その舌鋒は警察や行政などに対するうづぶんや不満に切り替わり、対峙するイングラム2号機のフォワード(操縦者)である太田功巡査個人に対する誹謗中傷となつてしまった。太田巡査は、その度重なる過剰な鎮圧行動から「破壊神」「暴走王」などという有難くない枕詞でも有名人だが、この時は努めて冷静に対処しようとしていたらしいところが、詳しい内容は不明だが、富山容疑者のとある二言のせいで太田巡査の自心は雲散霧消してしまつたようである。即座に「やれるもんならやってみろ」と言うが早い、同僚の泉巡査が乗るイングラム1号機の制止を振り切り、なおも何事かを叫び続けるブルドッグに向かって「そんなに痛い目に会いたいかあ!」と絶叫しながら発砲。容疑者の乗るレイバーの脚部を吹き飛ばし、瞬間に沈黙させた。

結果的には、十数個の空き段ボール箱と看板破損以外の被害はなく、発生から解決まで1時間未満という手際の良さは評価できるものの、まるで犯罪者の挑発に乗ったかのような行動には非難の声もあがっている。



AV-98 INGRAM2

仕様変更されたイングラム2号機

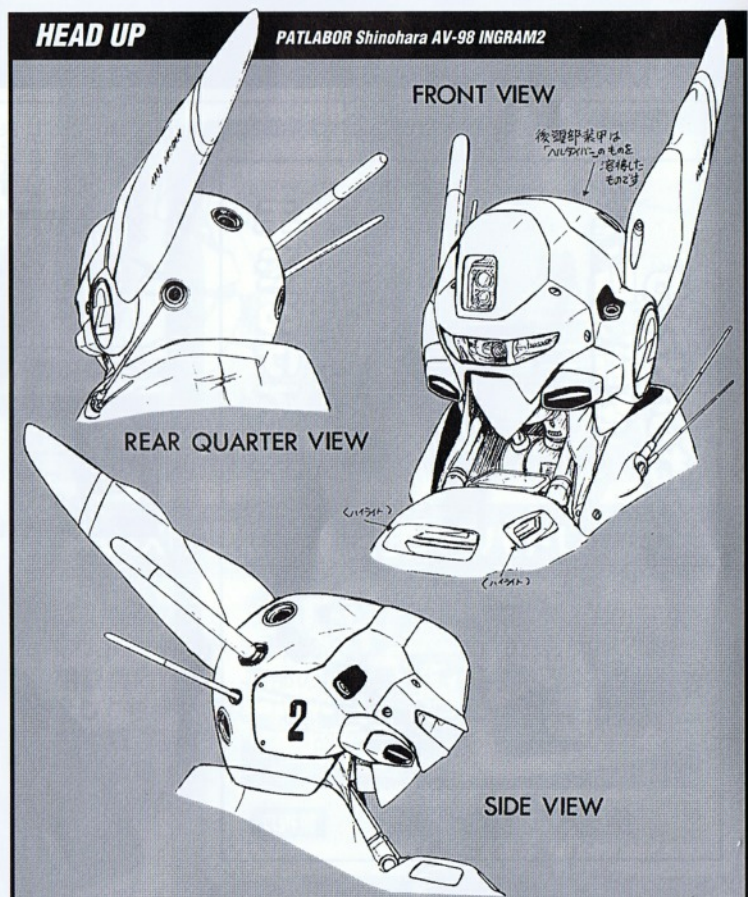
「イングラム」は、警察用特殊車両である「パトレイバー」としての側面を持つ反面、篠原重工製の実働運用試験レイバー「AV-98」としての性格も併せ持っている。つまり、警察用装備としての運用のほか、各種のデータを採取することを目的のひとつとしているのである。それは、防犯や治安維持に際しての「存在」としての心理的影響から暴走レイバー鎮圧などの「実務」にまで及ぶ、広範な意味における「公的暴力装置」としての働きそのものを視野に入れたものであると言っていだろう。特にイングラム2号機は「戦闘」を目的として開発された「ヘルダイバー」以上の損耗率を誇り、下手な軍事用レイバー以上に「兵站(へいたん)」の検討サンプルとして有効であるという稀有な稼働状況にある。無論、元々内装部品はイングラムもヘルダイバーもほとんど同規格であるため、装置の互換は新規開発と比べれば、期間的にもコスト的にも現状で最善の選択だったことは言うまでもない。第三世代機に分類されるイングラムは非常に画期的な機体であったが、警察用に特化された上、量産を前提としていなかった設計であるため、部品ひとつとっても他の量産レイバーのものの数倍から数十倍の価格設定をしなければならず、関係者の頭痛のタネだったからだ。ただし、民生品と比べれば軍事用の製品も安いものではなく、どれほどコスト圧縮に繋がっているかは疑問視されてもいる。第三世代機の特徴は、格段のコストと技術力をつぎ込んだものとして認識されているが、部品の共用によって実際に部品の在庫数に余裕ができるのは歓迎すべきことであり、それが引いては双方の製品としての信頼性の向上に繋がるわけなので、この決定は歓迎すべきものだろう。

テストヘッド【イングラム】

ただし、いくら篠原重工がイングラムに関しては採算を度外視していると言っても、企業である限りは何らかの形で「利益」を得なければならぬわけで、今回の2号機の仕様変更にしても、それは十分に根拠があつたことである。前述したように、警視庁特車二課第2小隊の、特にイングラム2号機は、防衛庁が運用するどのレイバーよりもタフな稼働状況にあり、ある意味では陸上自衛隊の空挺用レイバー「ヘルダイバー」よりもよほど多くの「実戦」をくり抜けていると言える。その上、搭乗者の操縦テクニックもサンプルとしては非常に興味深いものであるとされており、イングラム1号機と2号機の持つ「癖」の違いは、双方の機体をまったく異なった性格のものにしてい

るとさえ言われている。このことは、次世代のレイバー用OS(オペレーションシステム)の開発に有効であるばかりでなく、例えば、民生品の開発に際しても非常に有効な素材であることは容易に想像できよう。イングラムは元々データ収集用の試作機であるため、高度な状況対処能力を持つが、それに対して操作環境の設定はほとんど行われていない。しかし、特車二課において「後天的に」身に付けた操作環境関連のデータは、有り体に言って、どれだけ予算をかけても手に入られるものではない。その膨大なトライアンドエラーの蓄積は、ハード、ソフト両面からレイバーの進化を促すのである。その意味で、特に日常的に「生傷」が絶えない2号機は、ハード的な側面から多大なる貢献を行っているということもできるのである。

今回の仕様変更にもなつて、頭部ユニットの最終装甲が「軍用機」のものと換装されたということは、2号機の損耗率が高いということ以上に、レイバー犯罪や事件、事故、災害などにおいて、パトレイバーといえども軍用機並みの仕様でなければ対処できない事態や案件が増加しているということもできる。これは、今後開発が検討されている普及機や、あるいは更なる高性能機においても不可欠のファクターとなることは間違いなく、少なくとも「パトレイバー」としての運用を想定した場合、いわゆる「対レイバー性能の向上」は必須であるということになる。しかし、対レイバー能力とは、すなわち機動性と運動性双方のバランスのとれた進化であり、「武装」を強化しなければならない「軍事用」レイバーとはおのずと方向性が異なる「レイバーそのものの進化」を達成しなければならない。なぜなら「パトレイバー」の任務は「敵を殲滅すること」ではないからだ。進化を達成することは、レイバー産業全体の問題であり、現状では篠原重工が一歩リードしている「擬人化」を可能としている「技術力」に、追いつき追いつくことがレイバー産業全体にとっての共通課題でもあるということになる。無論、実際問題として首都圏以外の政令指定都市への配備や特車二課の小隊増強なども鑑みる必要があるため単純に決められる問題ではないだろうが、それらがすべて一企業に寡占されるという状況は決して望ましいものではない。健全な業界発展のためにも、各企業間のいい意味での切磋琢磨が望まれているのである。



▲警視庁特車二課第2小隊に配備されているイングラムの2号機は、今年度以降頭部形状が更新されている。これは、同じ篠原重工が、陸上自衛隊向けに量産している空挺用のARL-99ヘルダイバーの頭部用部材を採用しているためであるようだ。

イングラム2号機の頭部ユニットは、その損耗率の高さから度々修理、修繕を繰り返しており、特にカメラやフェイスガード周りは正規の規格品よりも代替物が装備されている期間の方が長かったほどである。そのため、正式に仕様変更を受け、耐弾性や応力構造などが更に強化されることとなった。

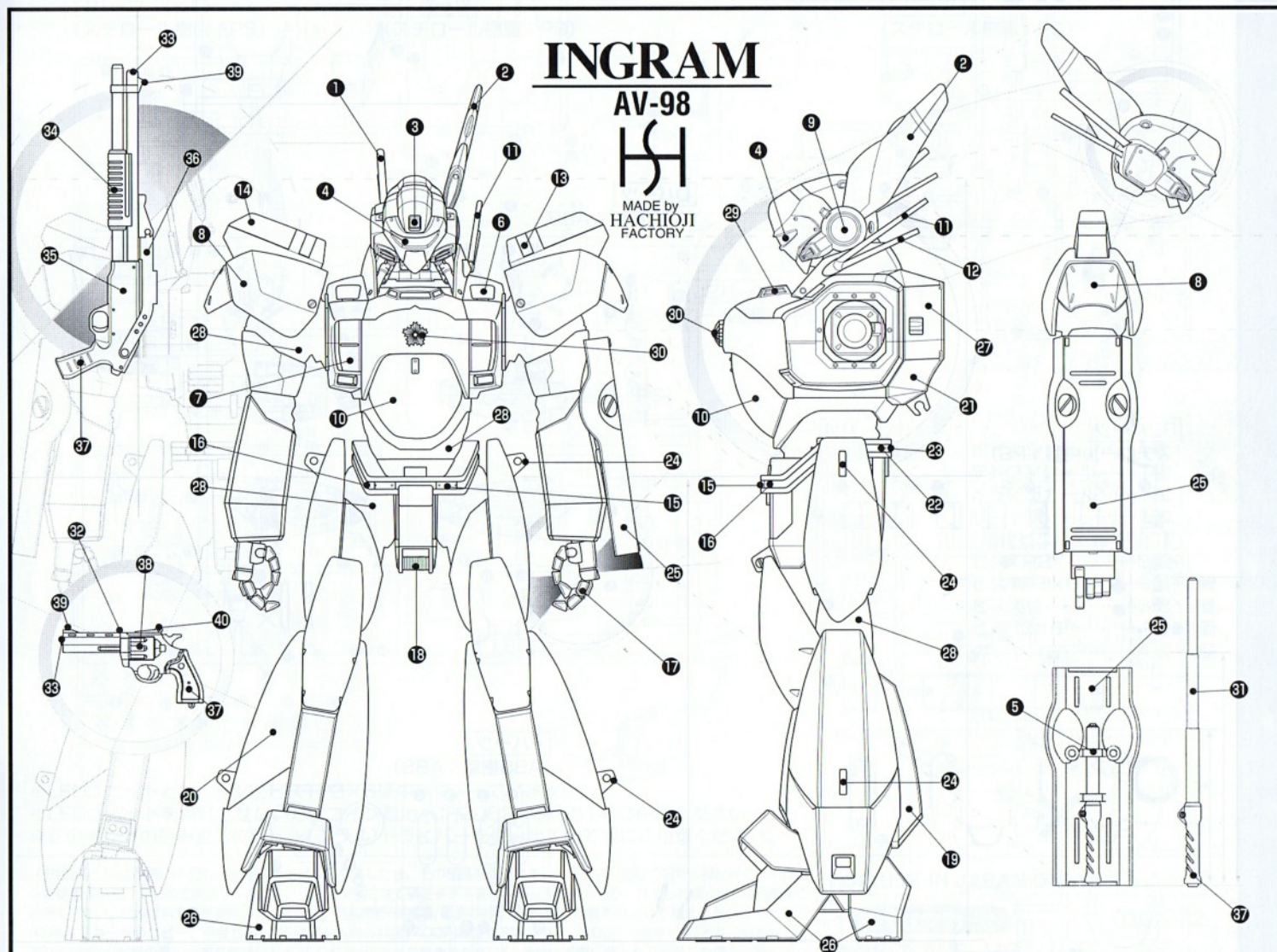
基本的には、同篠原重工製のヘルダイバー用の部品に手を加えているだけだが、警察と自衛隊では使用する電波の周波数帯やメンテナンス設備の性格が違っているため、各種のデバイスは結局新造されているものも多い。

これらの改装によって、2号機の損耗率や乗り手の暴走が減ると言うわけでもないだろうが、他の機体との共用部品が増えたことで、少なくとも部品調達の問題が軽減されると共に、数日は稼働不能となるメーカー修理なども頻度が下がるのが期待されている。

Main Police Labor project

警察車両としての【イングラム】

特車二課第2小隊に配備されたイングラムは初の“パトレイバー専用機”でもあった。すなわち、白と黒のツートーン塗装やパトランプの装備などが織り込まれた意匠を意識して設計されているのである。無論、開発の時点で警察への納入が決定していたわけでもないだろうが、“使う上で機能的に申し分ない”のと“あつらえたように相応しい”ものの差は歴然としている。途中の経緯はどうあれ、イングラムの出現は、レイバーという新たなカテゴリーの車両が公的に認知されたということでもある。消防庁や海上保安庁が採用しているものとは運用法も用途も異なっているのだから当然ではあるが、実際に工事現場で働くレイバーとパトレイバーの差異は、警察が運用する他の特殊車両の装甲車や護送車、放水車などのように、通常の乗用車とパトカーほど大きくはないはずだからである。つまり、イングラムはその常識を覆したのだ。とはいえ、それ以前に採用されていた各メーカーの機体が特に劣っていたということではなく、それらがいわゆる民生品の改造車であったのに対して、イングラムは各所に“警察車両”としての運用を前提とした配慮が施されているのである。例えば、警察車両であることを表示するエンブレムは、機体の内でも最も目立つ胸部前面装甲に取り付けられている。ここは犯人やヤジ馬のみならず、搭乗者も昇降の際に必ず目にすることになる部位なのである。また、肩関節のカバーは単なる肩カバーではなく、ショルダープロテクターアッセンブリとして、パトランプの装備を前提とした設計が施されているのである。これらの装備は運用を通じて機能や効果が検証されており、民主警察としてのステイタスや、心理的な作用も勘案されているのである。実際、パトランプの設置角度やライトの輝度などは、常に微調整や改良などが施されているユニットなのである。



INGRAM

AV-98

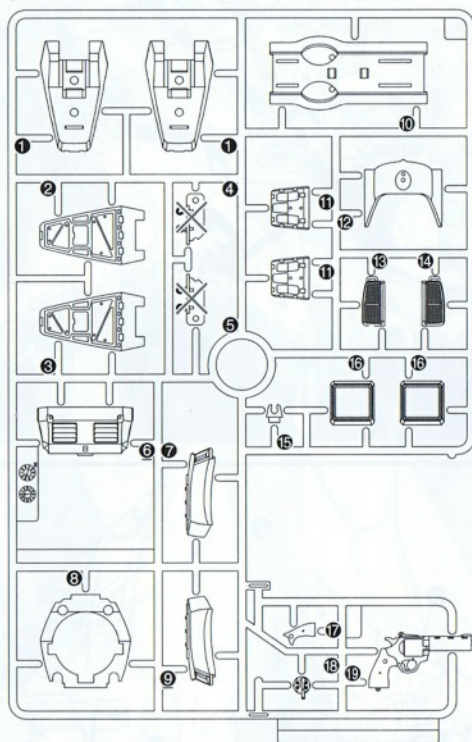


MADE by
HACHIOJI
FACTORY

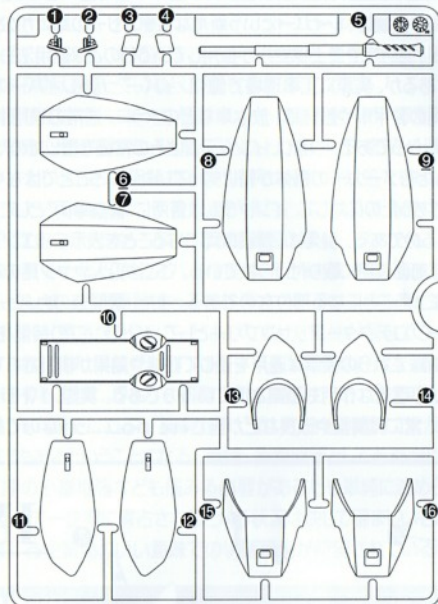
- | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|--------------------|-------------------------|-----------------|
| ① CEC・衛星通信ダイポールアンテナ | ⑨ コクピット用生命維持装置兼用エアコンディショナー | ⑬ 精密作業用五指式マニピュレーター | ⑲ アラミド・ケブラー製プロテクター | ⑳ マズル |
| ② マルチモード・アクティブアンテナシステム | ⑩ コクピットハッチ | ⑭ 96式起重機 | ㉑ イーグルVR製ラバープロテクター | ㉒ フォアエンド |
| ③ レーザーシーカー/IRセンサーバック | ⑪ 通信用ダイバーシティアンテナ | ⑮ ラジエーター | ㉓ 熱交換器/ハイプレッシャーコア | ㉔ 90mm連装ライアットガン |
| ④ LLLTV (暗視度カメラ) | ⑫ アンテナ・コンバーター | ⑯ リボルバー・カノン収納ベイ | ㉕ ジョイント・プロテクション・キャンパス | ㉖ フォールディングストック |
| ⑤ スティックホルダー | ⑬ サブモニターカメラ | ㉑ ダクト | ㉗ 展視孔 | ㉘ グリップ |
| ⑥ リトラクタブル点滅式ウォーニング・ライト | ⑭ 2連式ハイ・ルミネッセンスタイプ・パトランプ | ㉒ リアコーナーマーカー | ㉙ エンブレム | ㉚ シリンダー |
| ⑦ FOD (異物吸入防止用) スクリーン/インテーク | ⑮ H4/H1 ヘッドライト | ㉓ テールランプ | ㉑ 刈レイバー用フレキシブル・スタンスティック | ㉒ フロントサイト |
| ⑧ ショルダー・プロテクター・アッセンブリ | ⑯ 車幅灯兼用コーナリングランプ | ㉔ 牽引用アイプレート | ㉓ 37mmリボルバー・カノン | ㉔ リアサイト |

パーツリスト

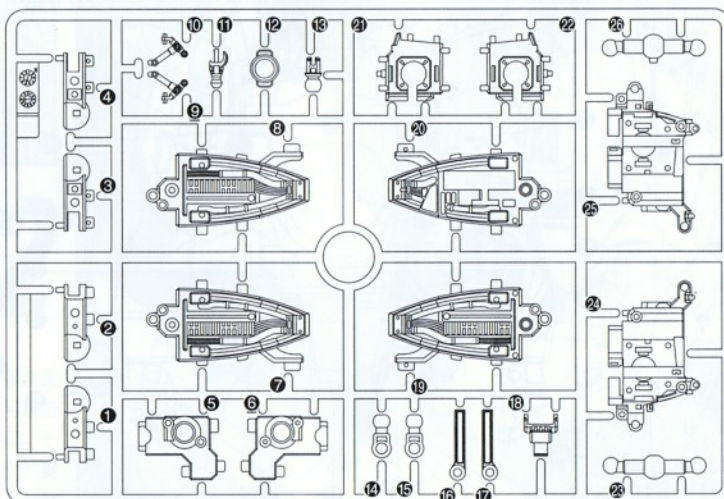
Aパーツ
(スチロール樹脂 : PS)



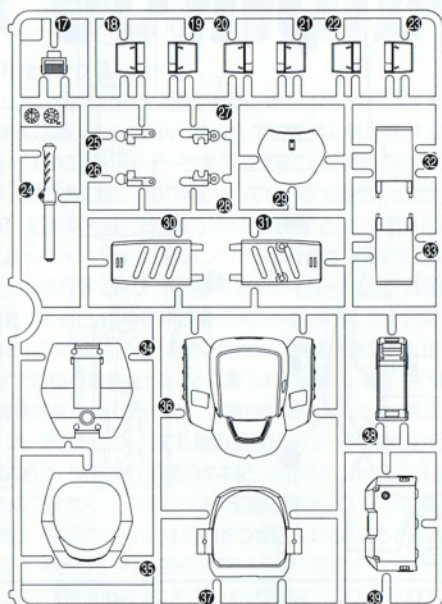
B1パーツ
(スチロール樹脂 : PS)



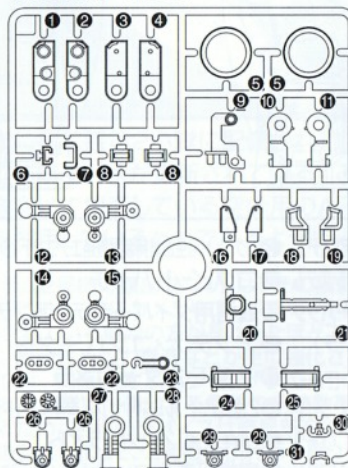
Dパーツ
(ABS樹脂 : ABS)



B2パーツ
(スチロール樹脂 : PS)

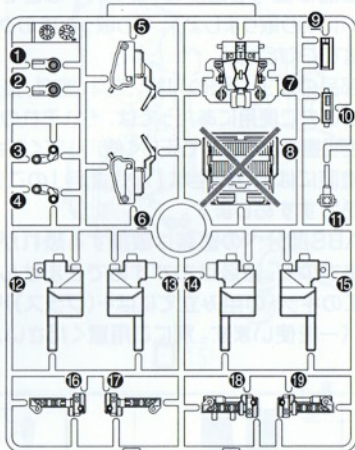


Eパーツ
(ABS樹脂 : ABS)



F1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



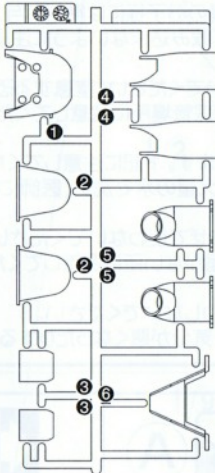
F2パーツ

(スチロール樹脂: PS)



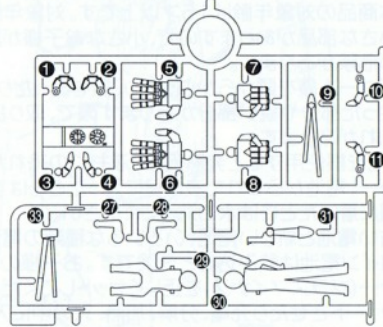
Gパーツ

(合成ゴム)



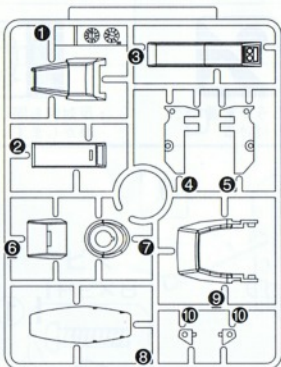
Hパーツ

(スチロール樹脂: PS)



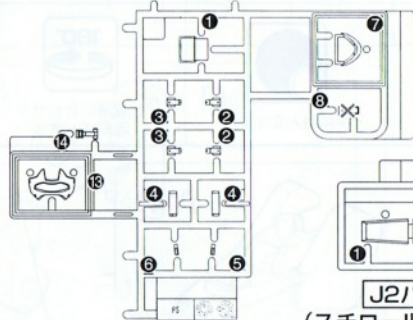
Iパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



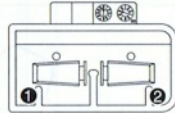
J1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



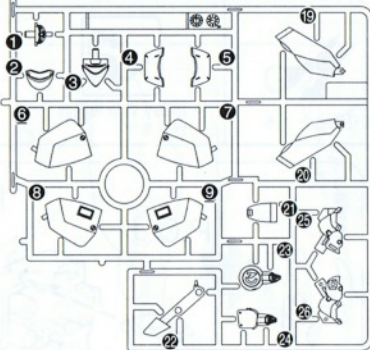
J2パーツ

(スチロール樹脂: PS)



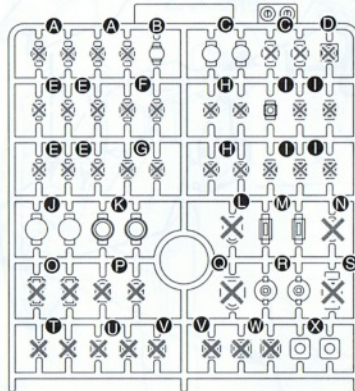
Lパーツ

(スチロール樹脂: PS)



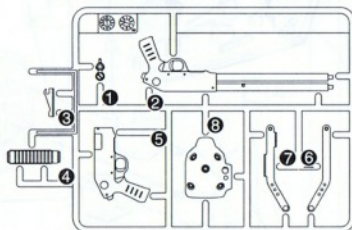
PC-122

(ポリエチレン: PE)

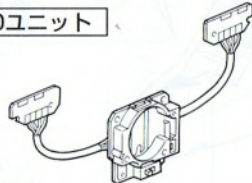


Mパーツ

(スチロール樹脂: PS)

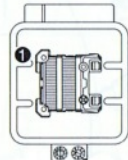


LEDユニット



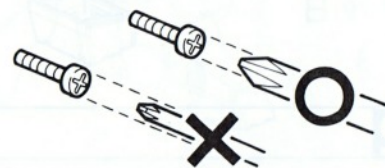
Nパーツ

(ABS樹脂: ABS)



- ホイルシール.....1枚
- テロンシール.....1枚
- ドライデカル.....1枚
- リード線.....1本
(塩化ビニル樹脂:PVC)
- ビスTP2×5.....3個
- ビスTP2×8.....9個+1個
- ビス座付.....6個+1個
- ビスM2×6.....4個+1個
- ナット.....4個+1個

※LEDユニットとNパーツとビスTP2×5は中箱に入っています。
※LEDユニットを点灯させたい方はコイン電池 (CR2032・別売り) をご使用ください。
※このキットの組み立てには、+ (プラス) ドライバーを使いますので別にご用意ください。



《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード (部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金 (100円単位を定額小為替、100円未満を切手) と共に封書にてお送りください (封書の裏に必ずお客様の名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご購入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

《料金表》

●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	H29 H30	LEDユニット	その他の部品
部品代	各300円	2000円	各40円
郵送料	120円	140円	120円

2002.2/T・ON

●部品の価格および送料は変更する場合があります。部品代には、消費税が含まれています。郵送料が改訂された場合は新料金が適用されます。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0107022

1/35SCALE MGシリーズ
WXⅢ版イングラム2号機 (電飾ユニット付)

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由 (○で囲む) (こわしたくない)

日中で連絡可能な電話番号 年齢

() () () ()

R2281954 '02.2

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。
- 《電池を誤使用すると発熱・破裂・液もれの恐れがあります。下記に注意してください》
- 万一、電池からもれた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひふや服に着いたときは水で洗ってください。
- 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使わないでください。
- コイン電池は飲み込むと危険です。お子様の手の届かない所に保管してください。
- 十一(プラスマイナス)を正しくセットしてください。
- ショートさせたり充電、分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。
- LEDユニットの光の点滅を見続けしないでください。気分が悪くなったりするおそれがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- このキットの組み立てには+(プラス)ドライバーを使います。別にご用意ください。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます

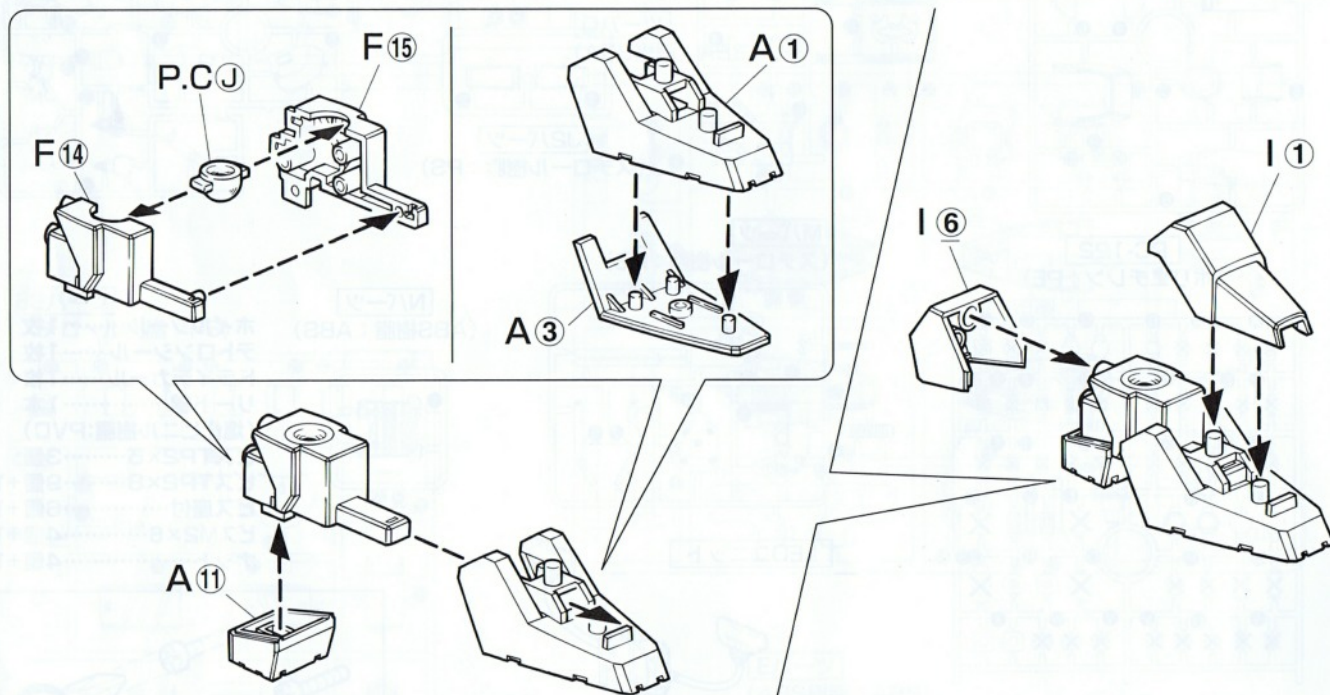


・どちらかを選んで取り付ける

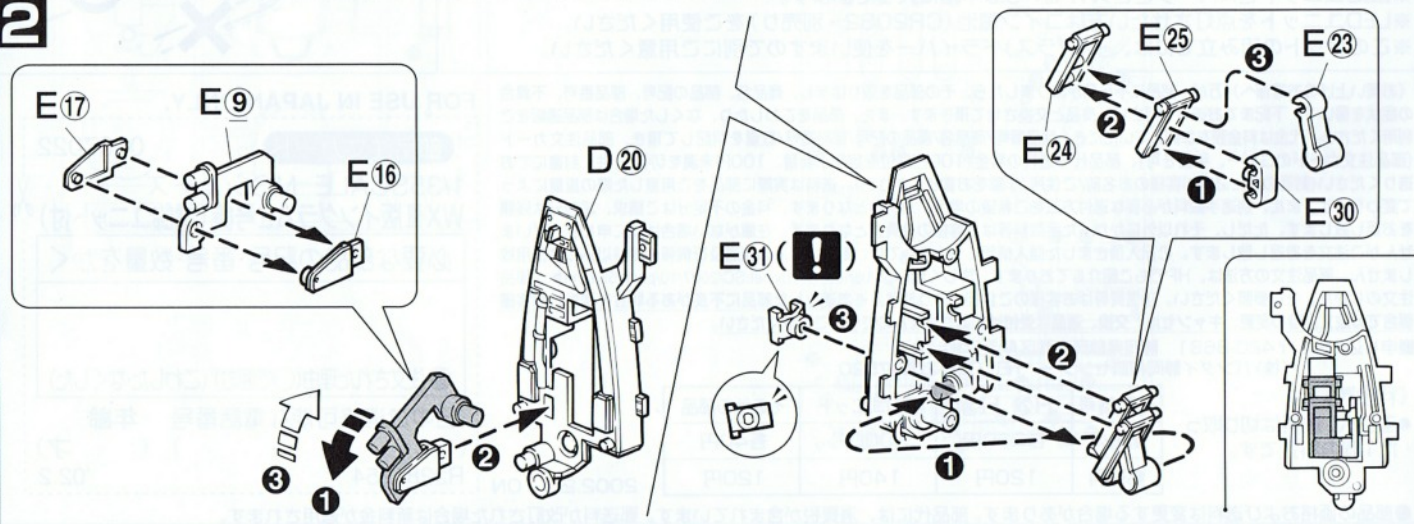


・反対側も同じように動かします

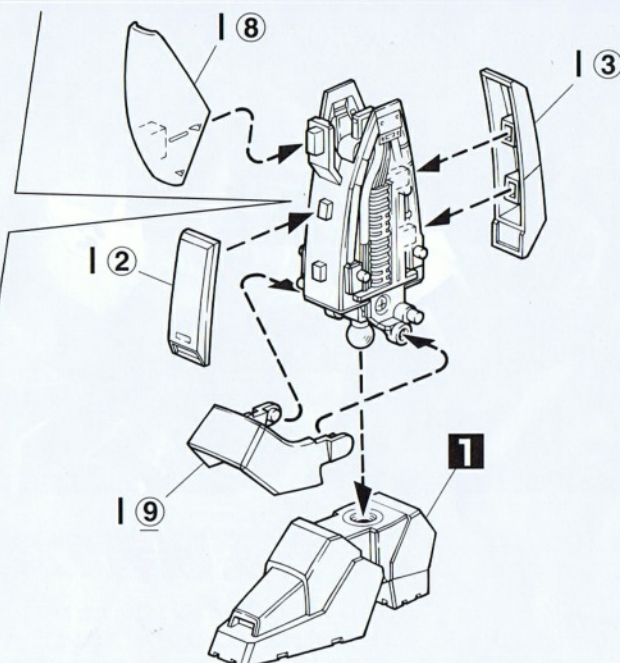
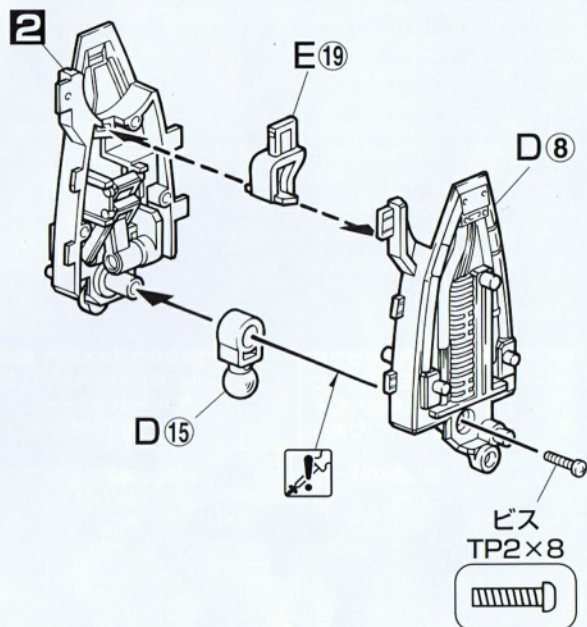
1



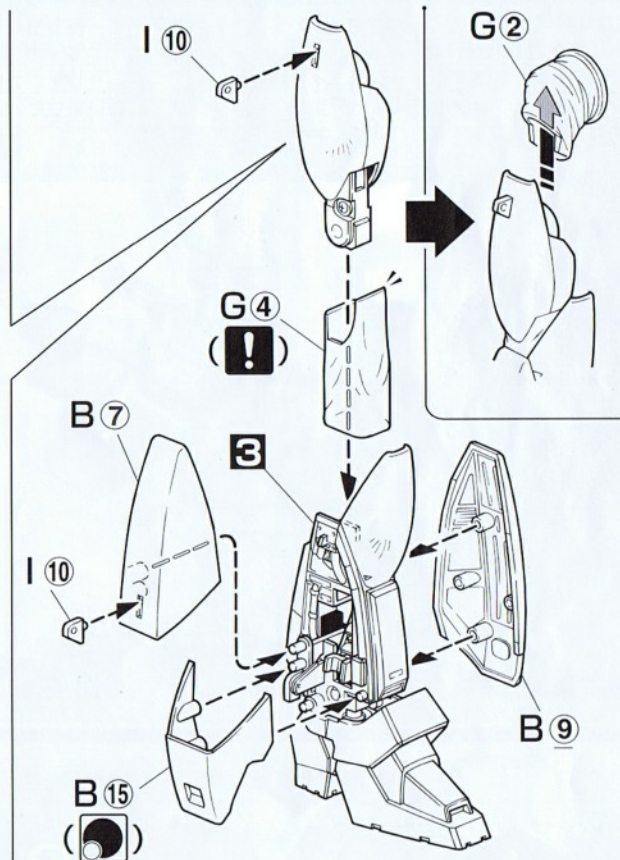
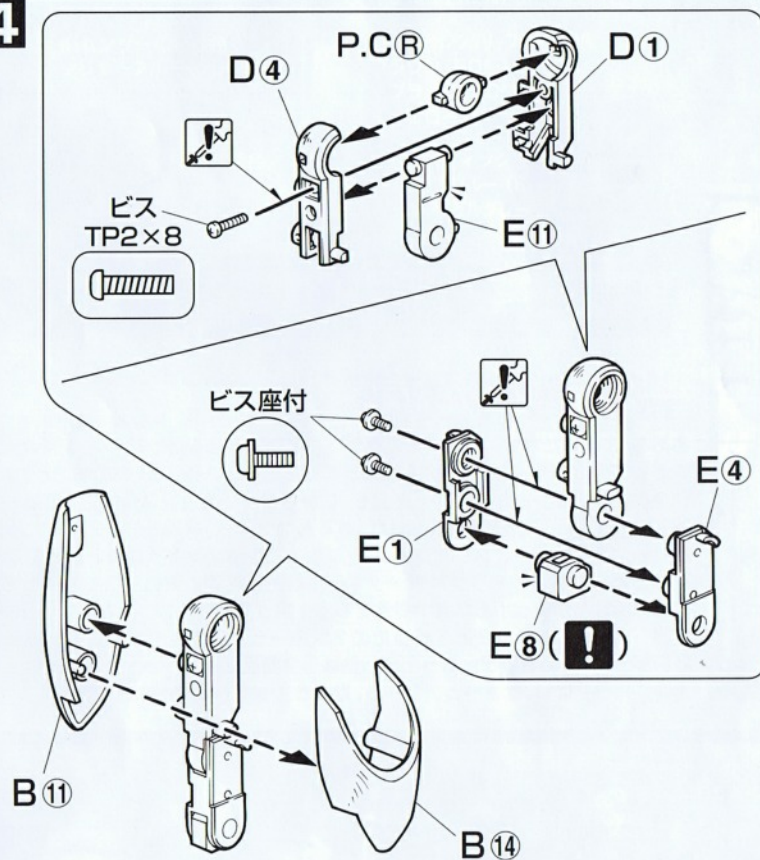
2



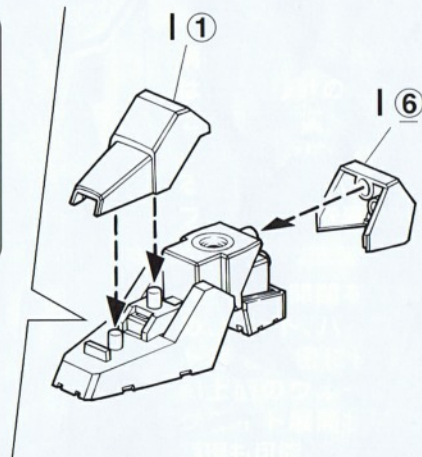
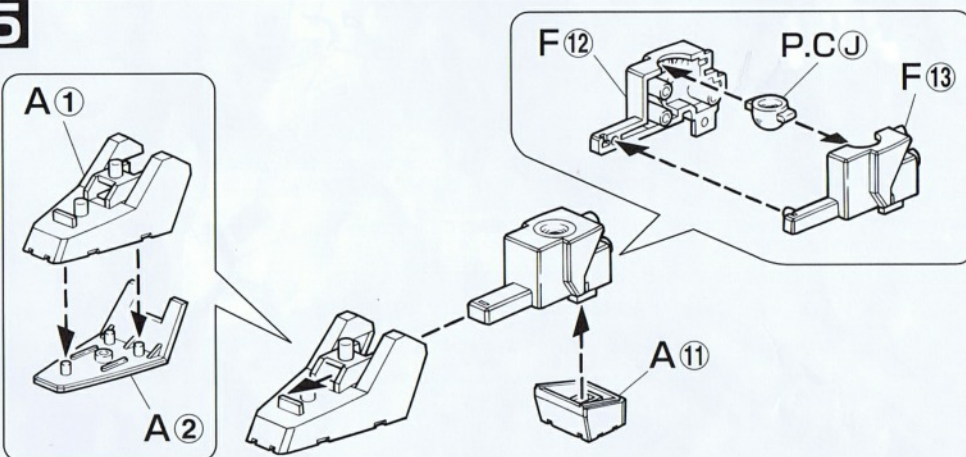
3



4



5





受験生の発奮

あー、騒がしいと思ったらバトレイバーじゃん……。何か事件かなあ……。……バトランプって赤いなあ……。今度の試験も点数は真っ赤かったか？いやっ、イカンイカン。前向きに考えねばっ！ポジティブシンキング、ポジティブシンキングっ！と！んんっ？おお？テッポーだよテッポー。でけー！んっ、光った光った！うおっ！……かーっ！すっげー、音でけえ！！うっわー、オレも撃ちてえなー。気持ちよさそーだよなー。あれなら警官もいいかもなー、巡査だっけ？アレ？地方公務員ってドコまでだっけ？たしか国家公務員は警視からだっけ？えーっとお、あれ、な〜んだ、もうカタ着いちゃったのかあ、撤収始めちゃってるよ……。ベンキョしよ。……でもなー、何も試験の前日に近所で事件なんか起こなくなっただけさあ……。いやいやっ、ポジティブだっ！ん？うーっとお？P、O、S、I、T、I、V、Eと。イイんだよな。うんうん、明日の試験出たりして！……もう寝ようかな。(15才 学生)

傍観者の驚嘆

Oh！コンなトコロで、バトゥレィヴァー見られるう思いまセンでスター。ニホン来てかう、おどろくコトばかりデース。ワッツ？アハン、ヒーイズデストロイヤー？ホワイ？アー、イエスッ、アイノウ！ヒューマンディザスター！？リアリー？ゆーメイなあのポリスメンですか！？実在シタですねー。デモ、こんなヒロイ場所なラ平気でショウ？オウ、ルック！相手がテーポー持ち出しまシタ！Oh！まるでババレイね。イエス！スタンスティック！オウ、ジーザス！！ベリリアスト！！トても素早いネー。スゴイ妙技デース。アのバトゥレィヴァー乗ってるヒト、ベリリタツジンではないですか？ワタシよく味わいました。ステイツでもこんなデスマッチ見られマセンネー。(26才 留学生)

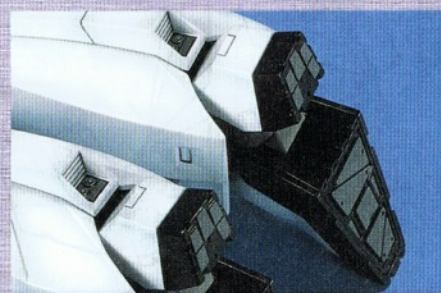


当事者の困惑

あああ、まいったなあ、何もウチの倉庫に立てこもらなくなっただけ……。うわわっ、ねえっ、あのバトレイバーあの人に乗ってるんでしょ？ねえっ、あのあのっ、はっ破壊神とかオオタとかって！あああ、しかもショットガンなんか持ってるっ！お願いですよ、精密部品がいっぱいあるんですよ、納期も迫ってるのにっ！ひーっ、犯人を怒らせないでっ！そんなっ、挑発するようなコト言わないでっ！お願いだあ！あッダメダメッ！そんな売り言葉に買い言葉！どーしてウチの倉庫なんかにっ！ああ！構えてるっ！狙ってるっ！ひっ！ひいっ！……んあ……。あっ、あれっ？お？終わったの？はふーっ。スゴイ音だった……。はっ！看板がっ、ウチの看板がああ！はっ他はっ？商品はっ？かっかっ看板だっけ？ホントにっ？はっ、はあ〜。あ〜、助かったあ。(49才 会社役員)



※この写真はパイロットとシートの内部イメージです。組立説明書通りに組み立てた場合は、この写真の状態には、なりません。



PAINTING

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。

※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

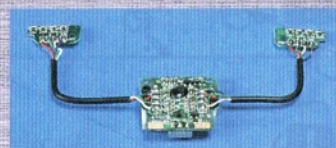
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

	本体白部分の塗装色。 ホワイト (100%)		胸部ウォーニングライトの塗装色。 モンザレッド (100%)
	本体黒部分の塗装色。 ブラック (100%)		ウインチの塗装色。 黒鉄色 (100%)
	関節、内部メカなどの塗装色。 ミッドナイトブルー (50%) +ニュートラルグレー (40%) +ブルー (5%) +レッド (5%)		コクピット内部の塗装色。 ブルー (70%) +ブラック (20%) +ホワイト (10%)
	左アンテナ先端部の塗装色。 ホワイト (50%) +ミディウムブルー (40%) +レッド (10%)		シートの塗装色。 ミディウムブルー (50%) +グリーン (20%) +ブラック (20%) +ホワイト (10%)
	目の塗装色。 クリアーグリーン (100%)		リボルバーカノンの塗装色。 黒鉄色 (70%) +グリーン (20%) +ブルー (10%)
	額センサーの塗装色。 クリアーブルー (100%)		リボルバーカノングリップ部分の塗装色。 ブラウン (50%) +ブラック (30%) +イエロー (20%)
	ライアットガンの塗装色。 黒鉄色 (50%) +ブラック (30%) +ブルー (20%)		スタンスティックの塗装色。 ミディウムブルー (60%) +ニュートラルグレー (40%)
	各ウインカー部分の塗装色。 クリアーオレンジ (100%)		スタンスティックグリップ部の塗装色。 ミッドナイトブルー (100%)

FRONT VIEW



REAR VIEW

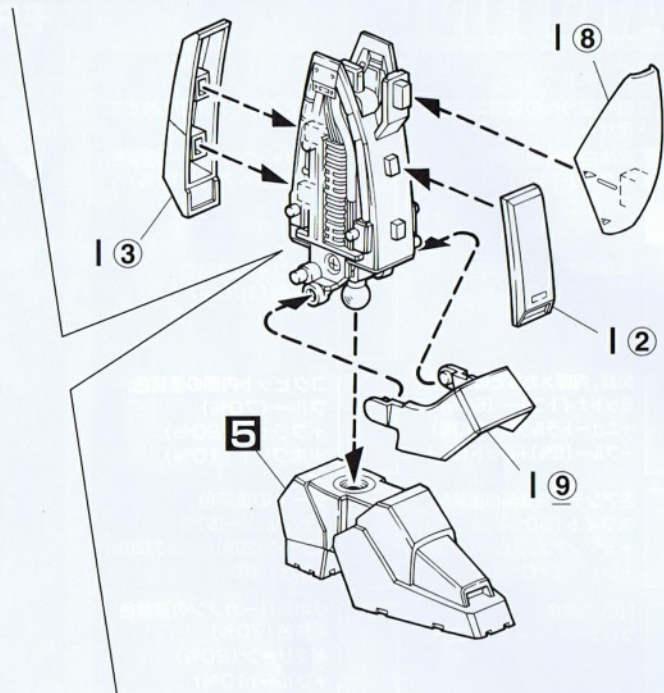
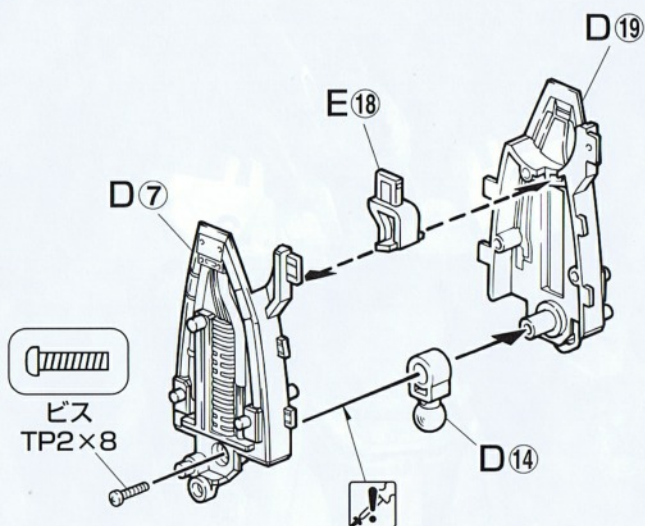


▲ 肩のパトランプ内部には、専用設計の電飾ユニットを装備。多数のLEDを順々に点灯させることによりパトランプの回転状態を表現！

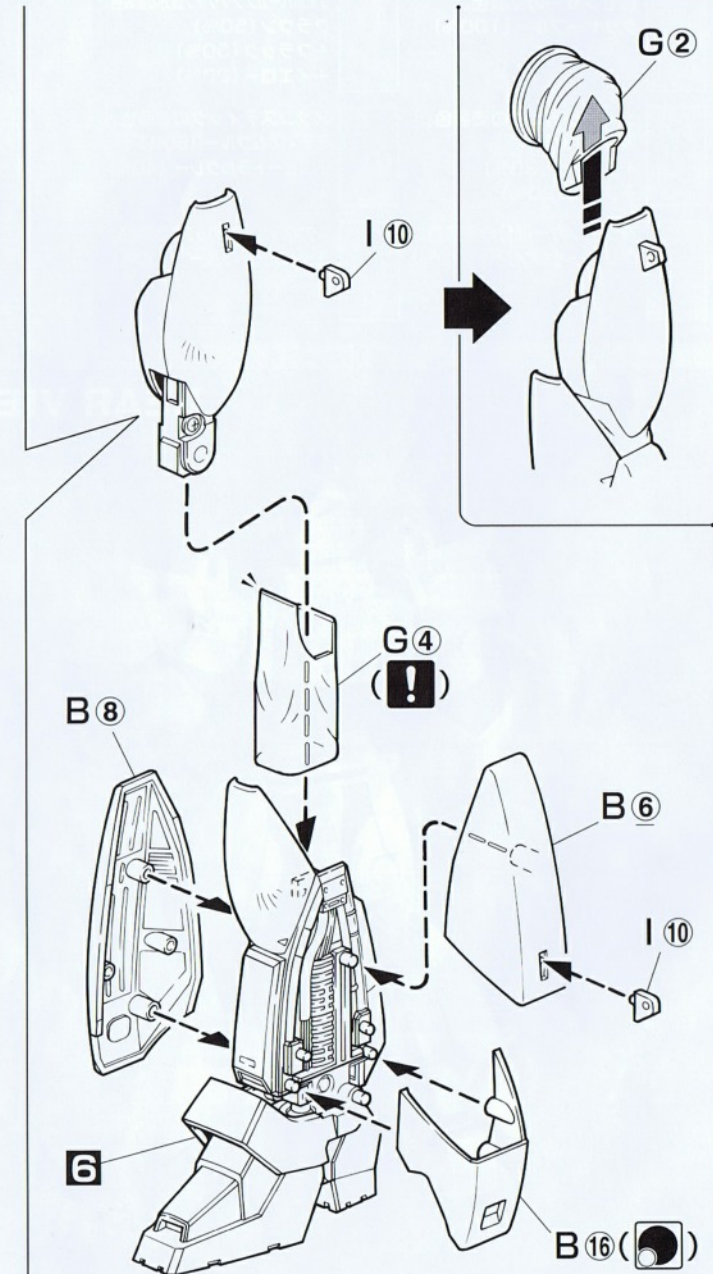
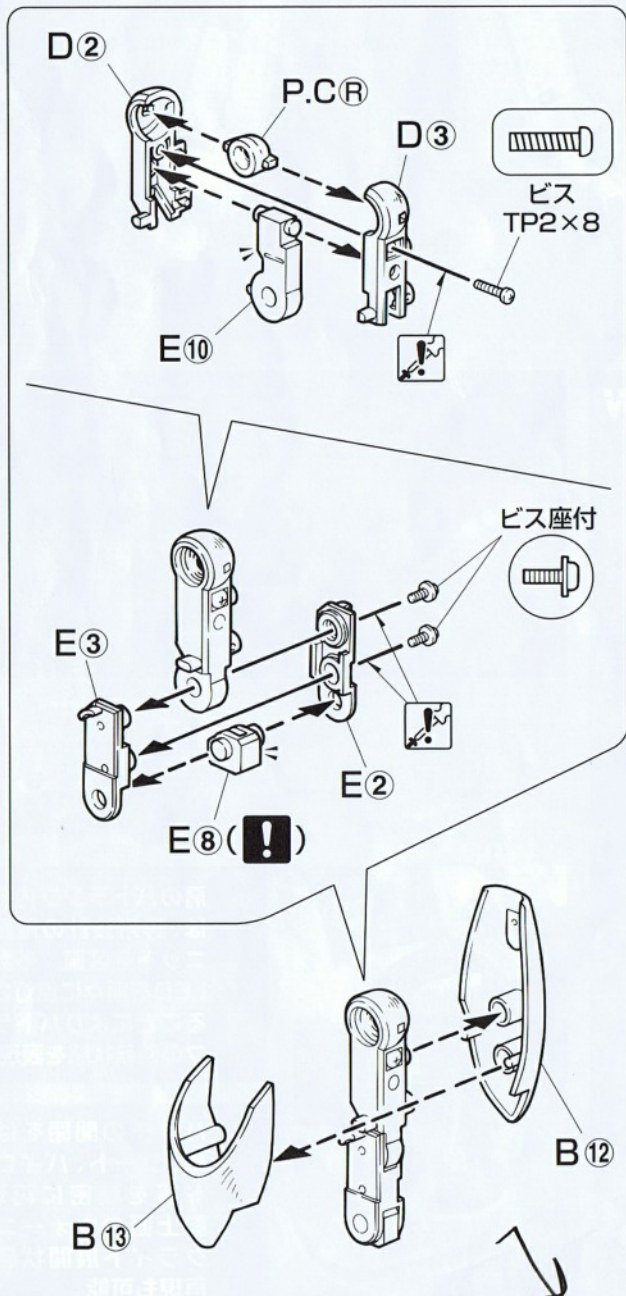
◀ ハッチの開閉をはじめ、シート、パイロット等を精密に再現。胸上面のウォーニングライト展開状態の再現も可能。

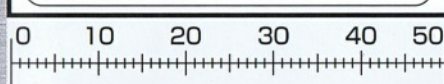
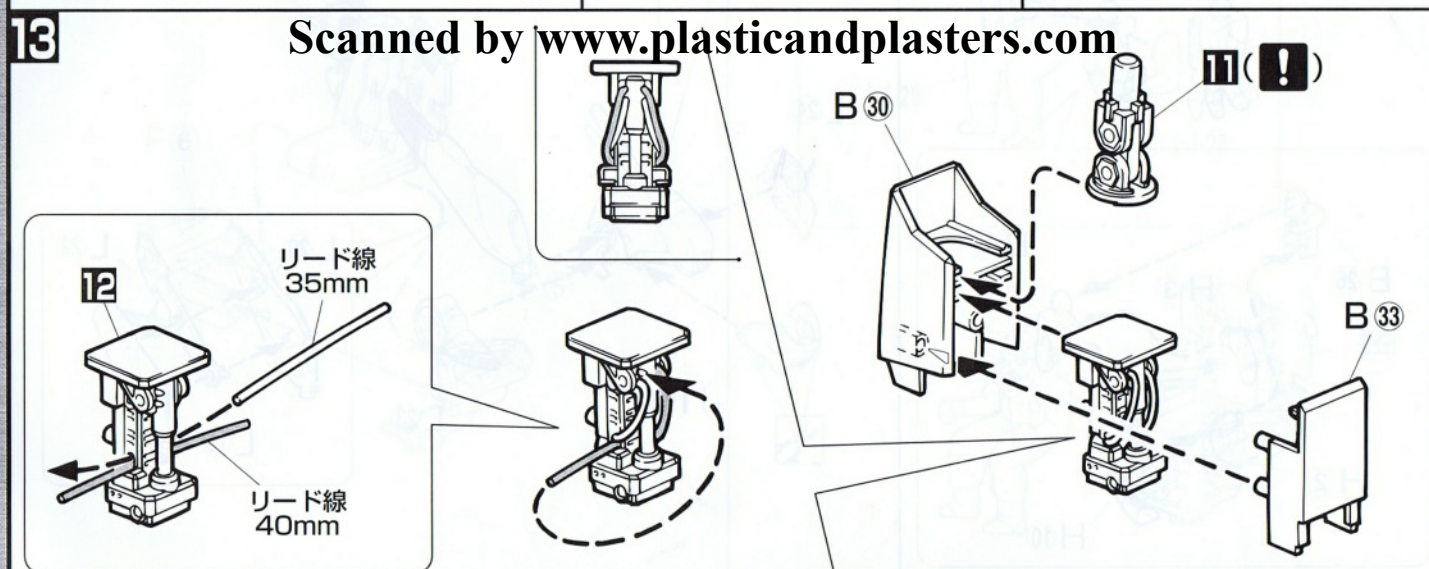
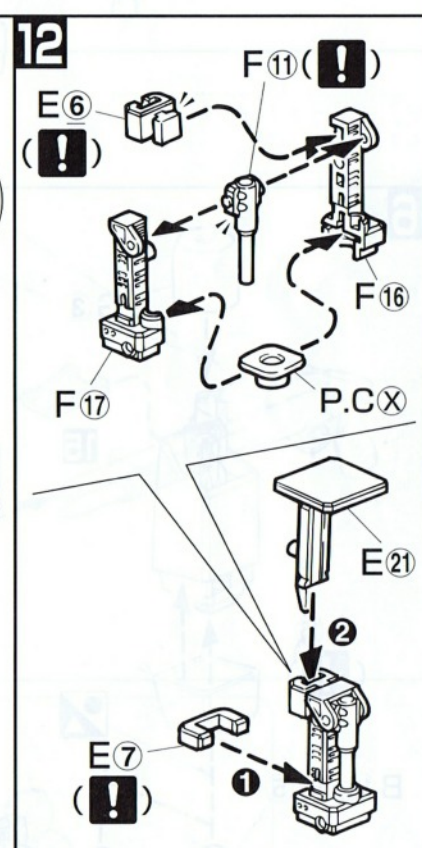
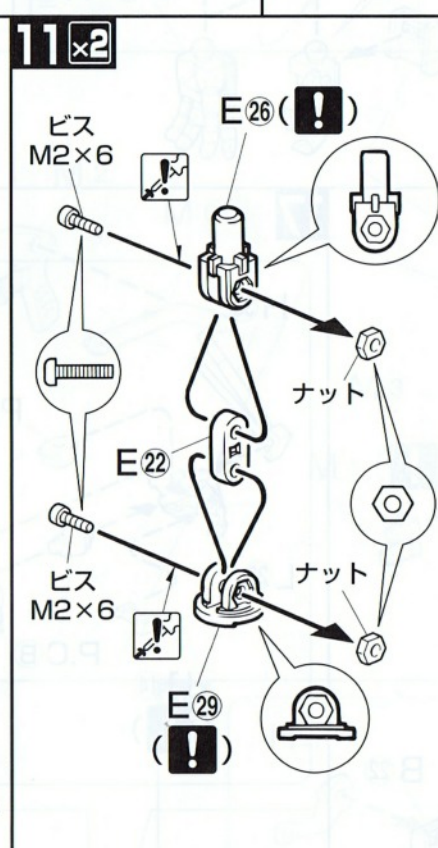
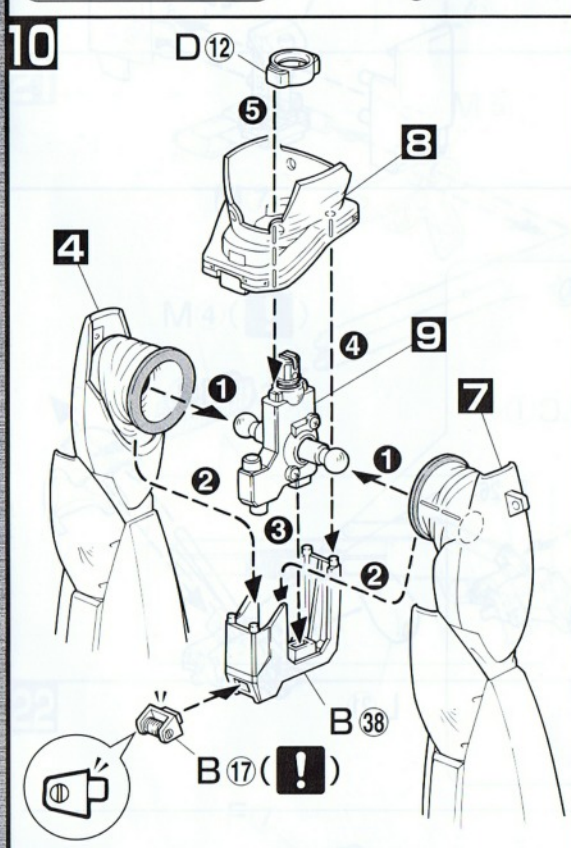
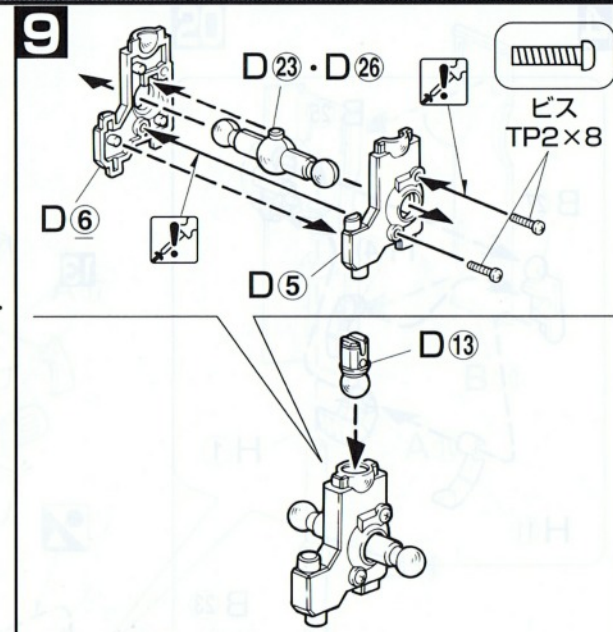
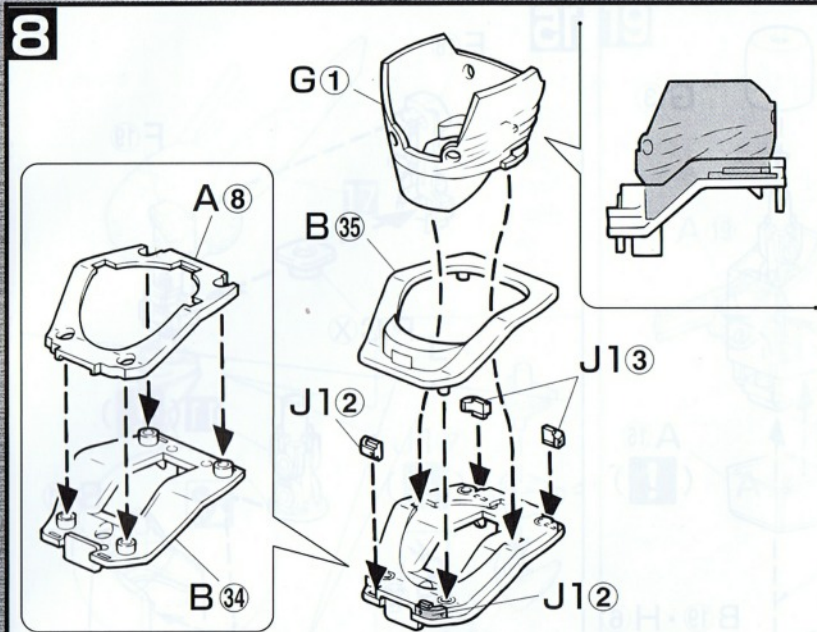
※画像の完成品は塗装してあります。

6

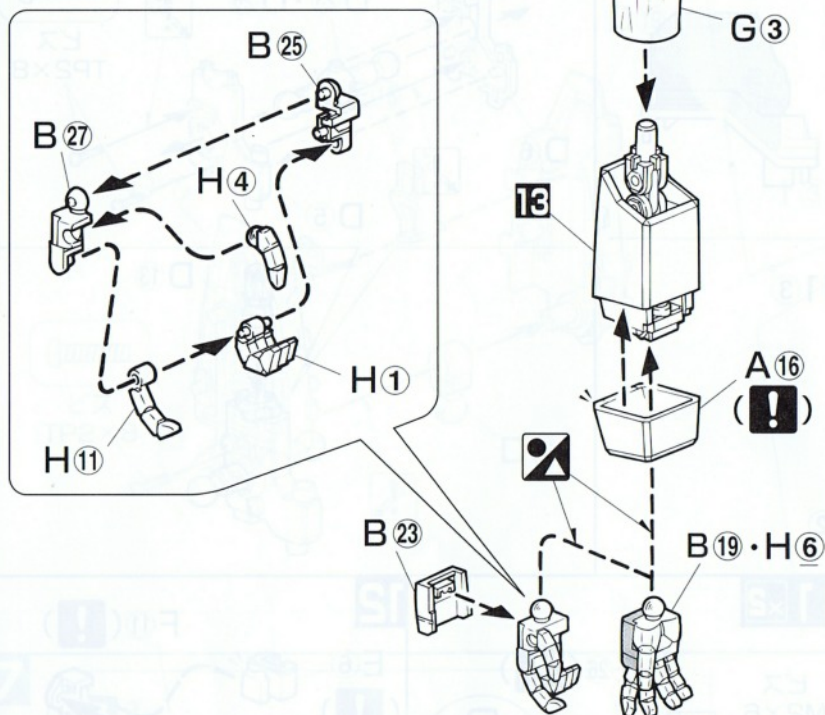


7

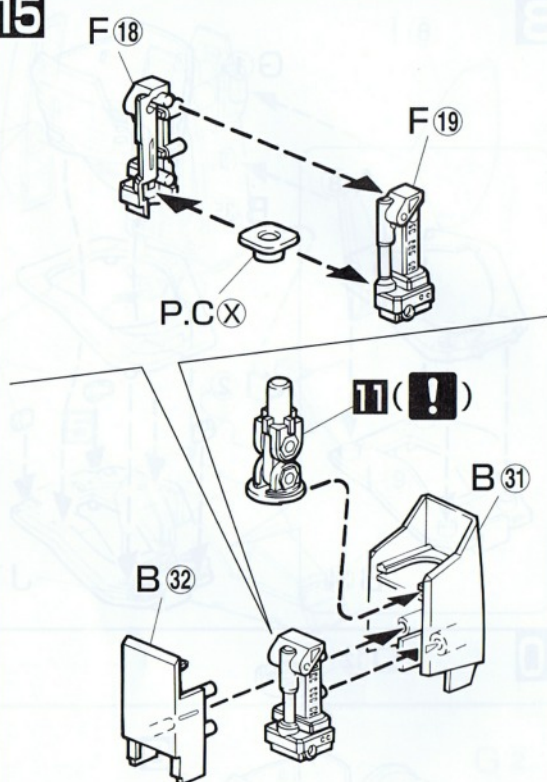




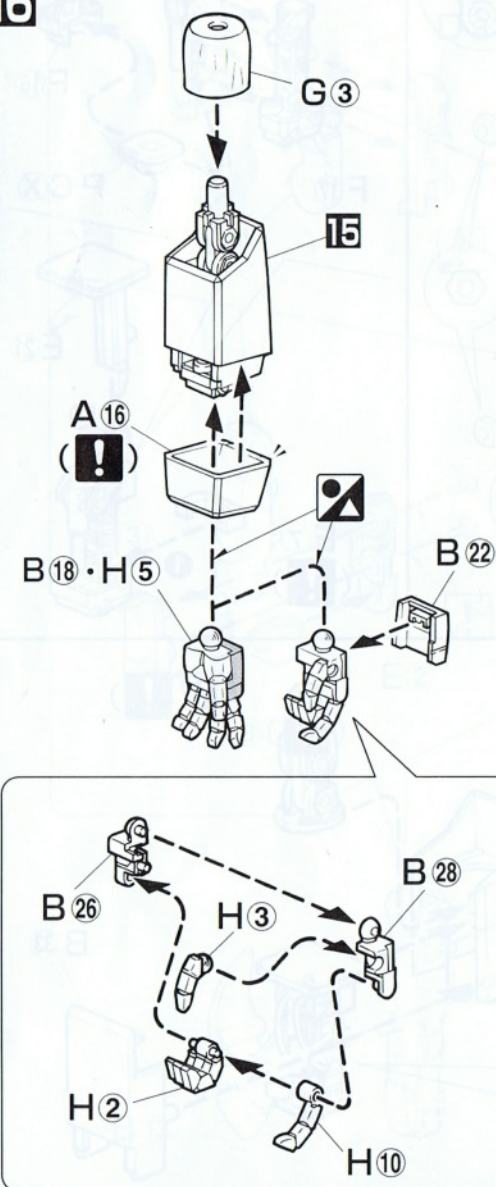
14



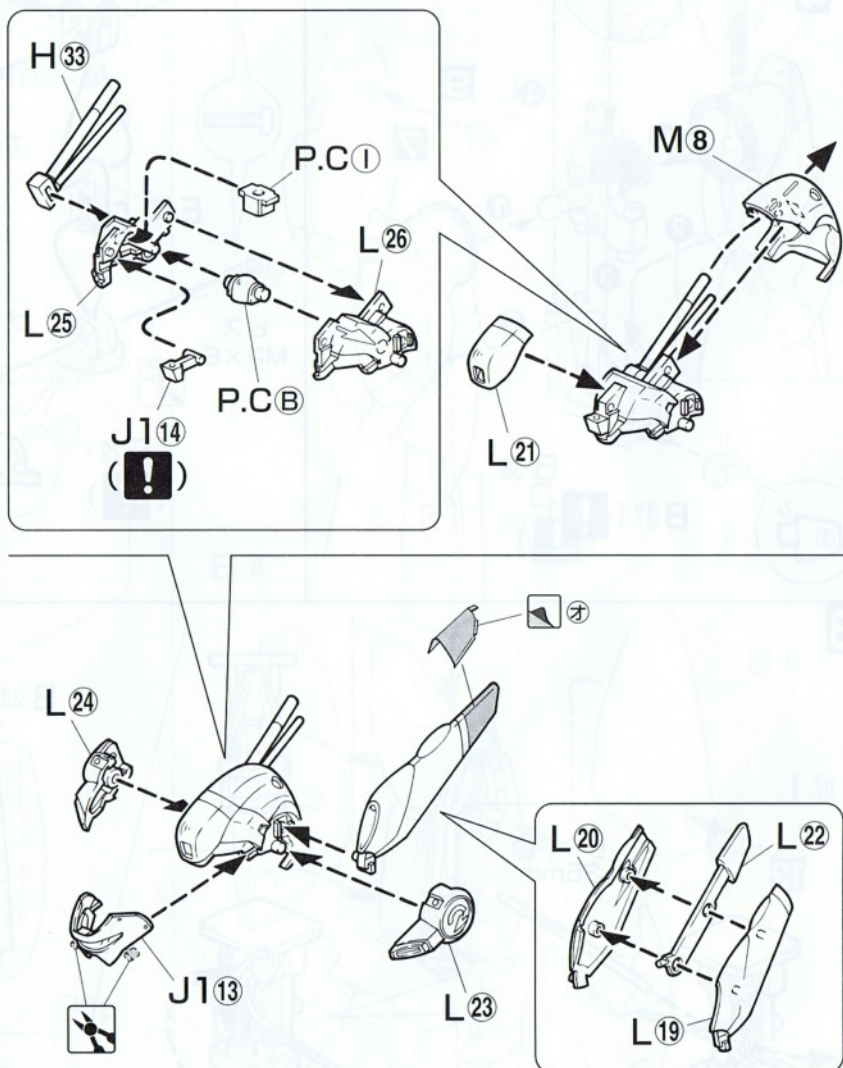
15



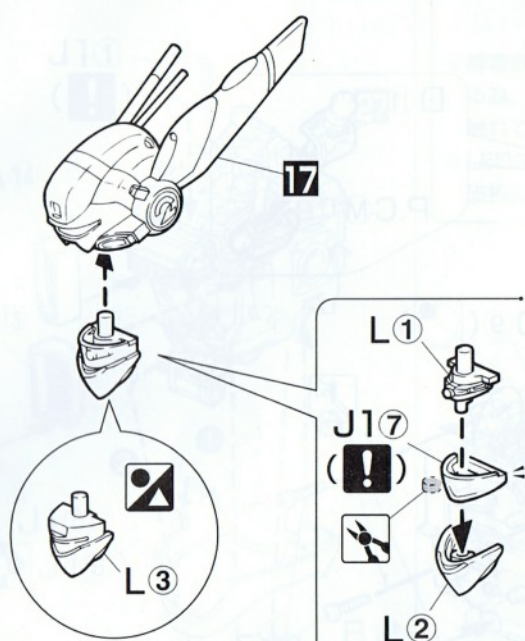
16



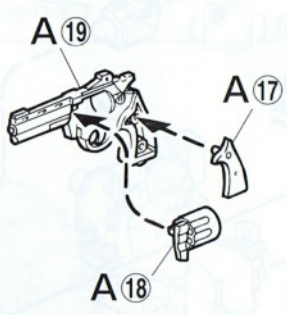
17



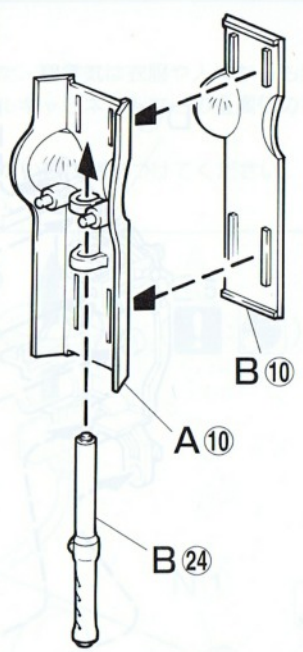
18



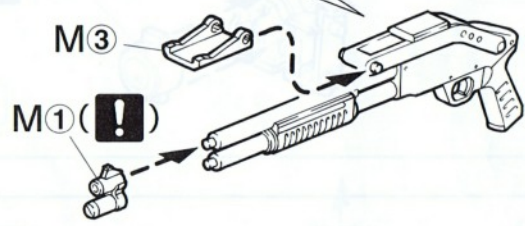
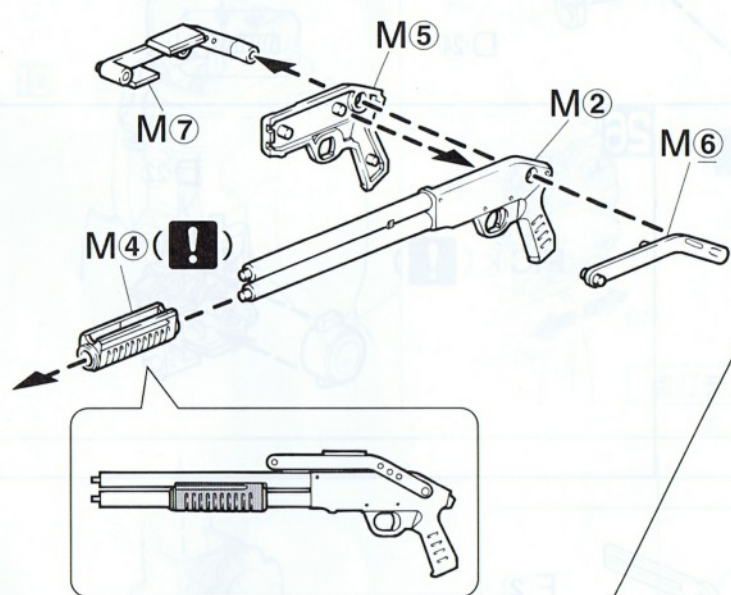
19



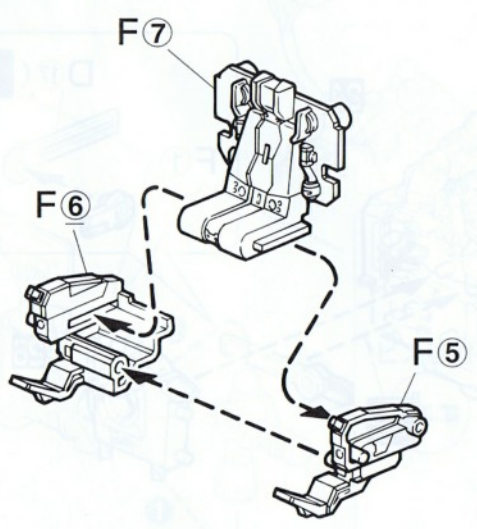
20



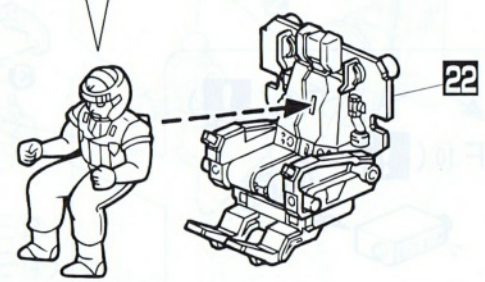
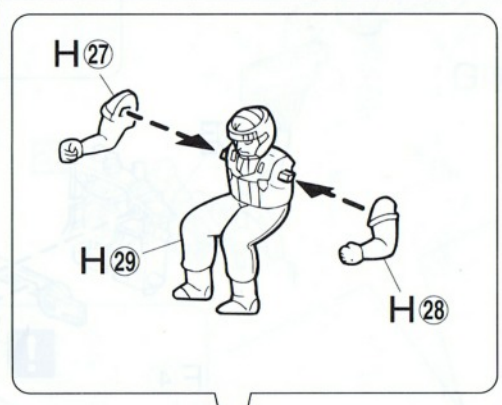
21

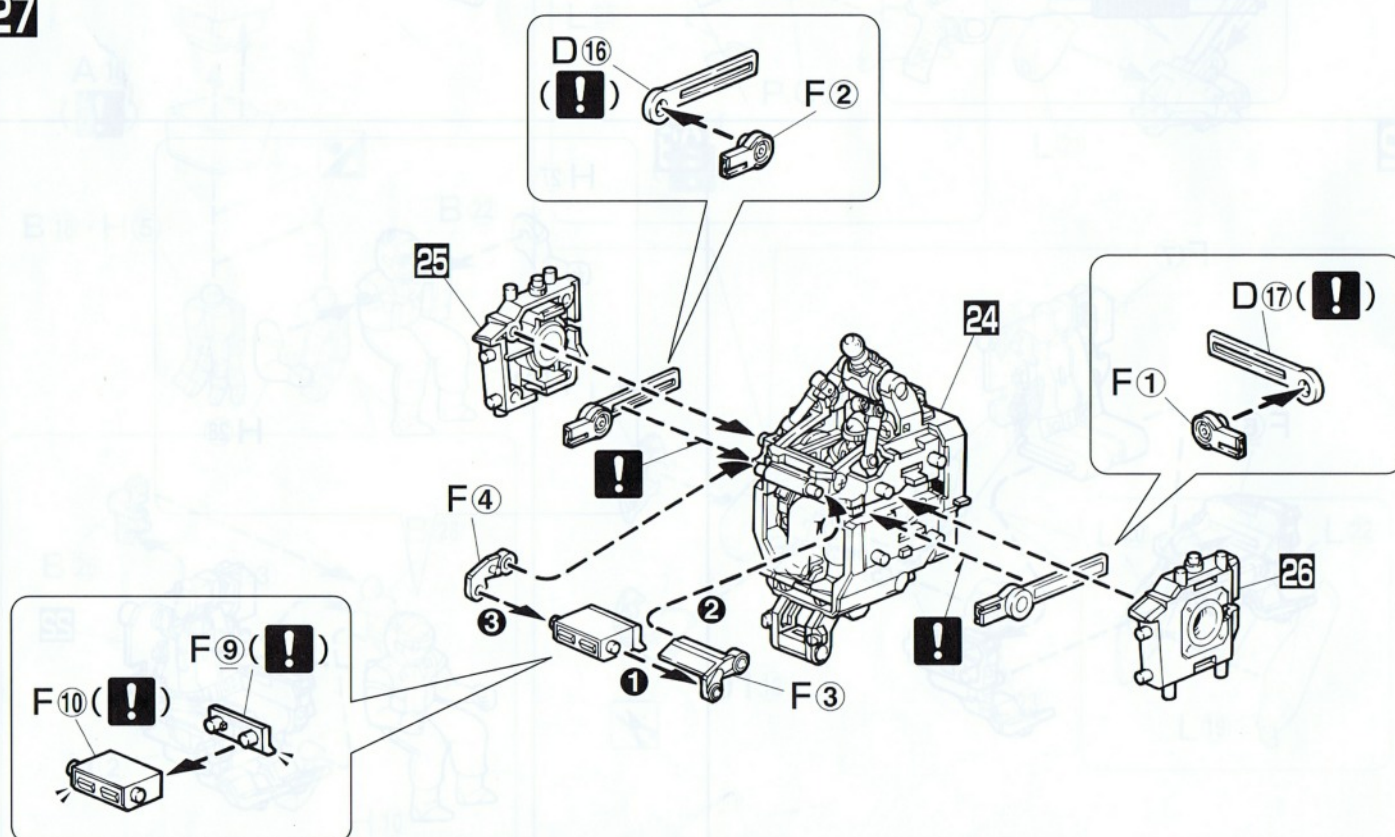


22

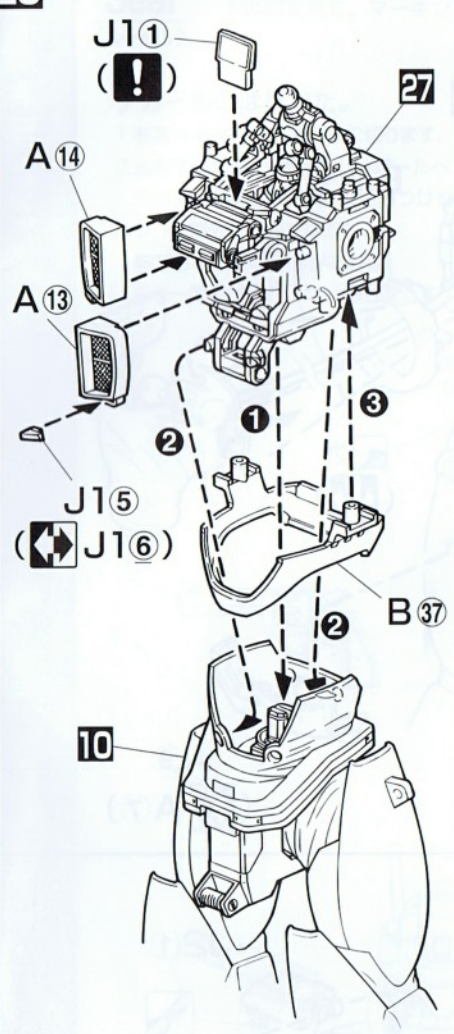


23



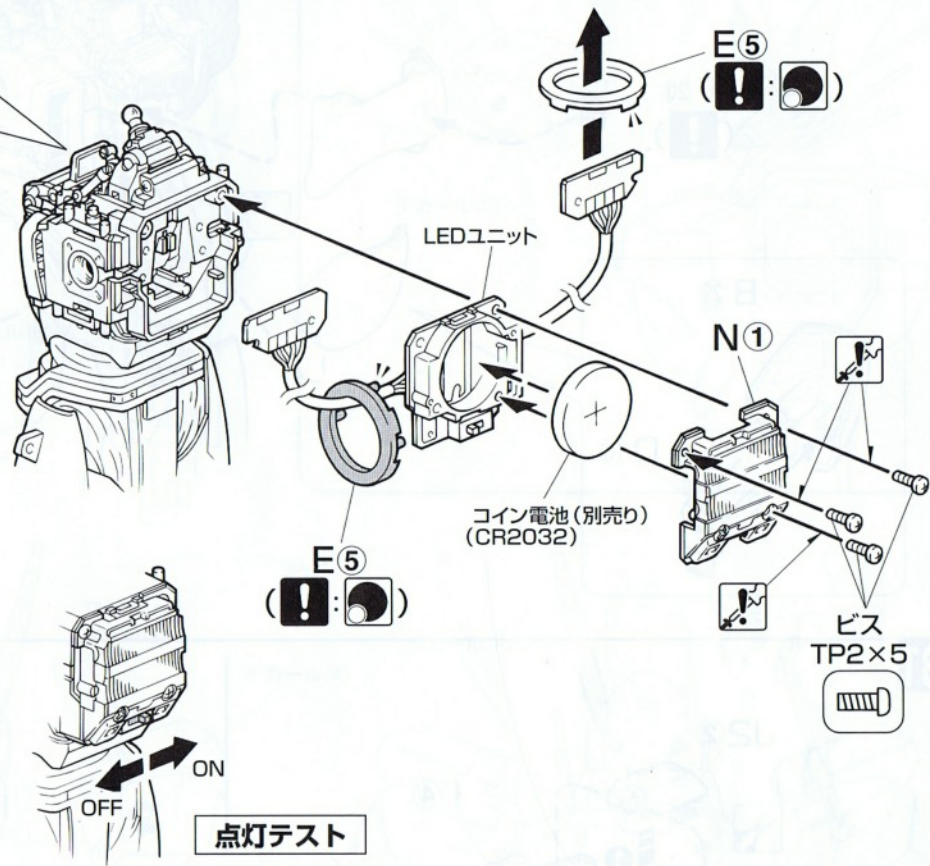


28



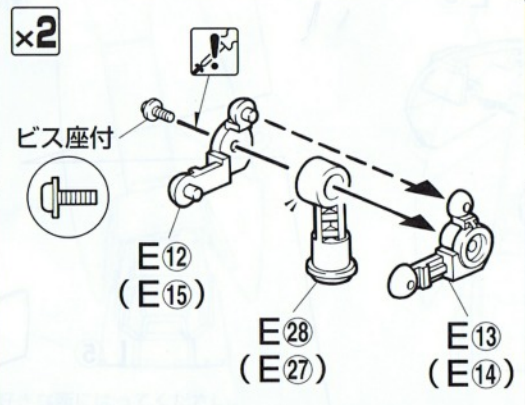
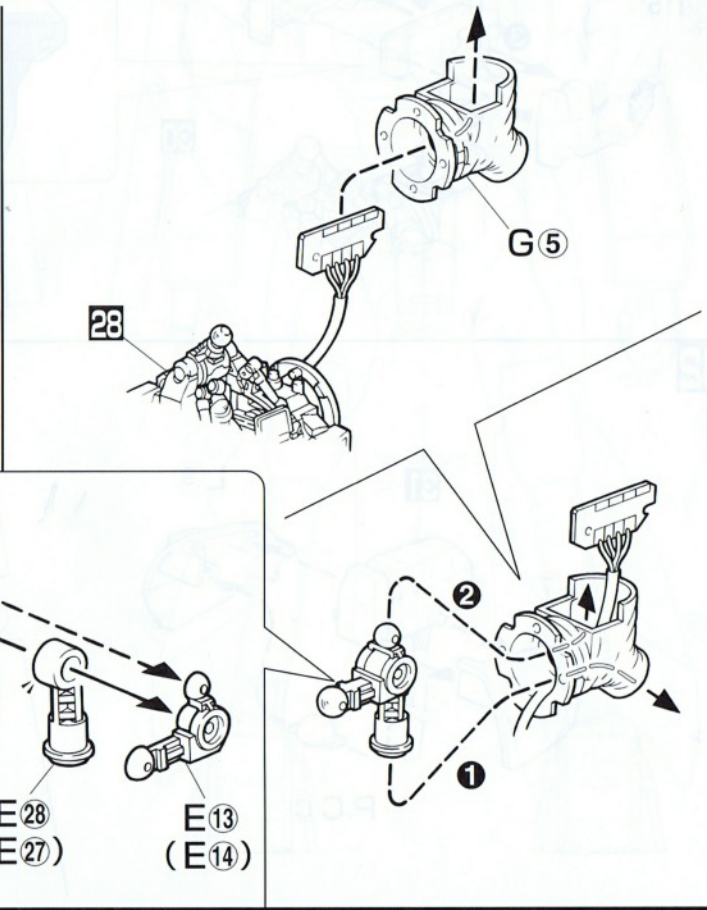
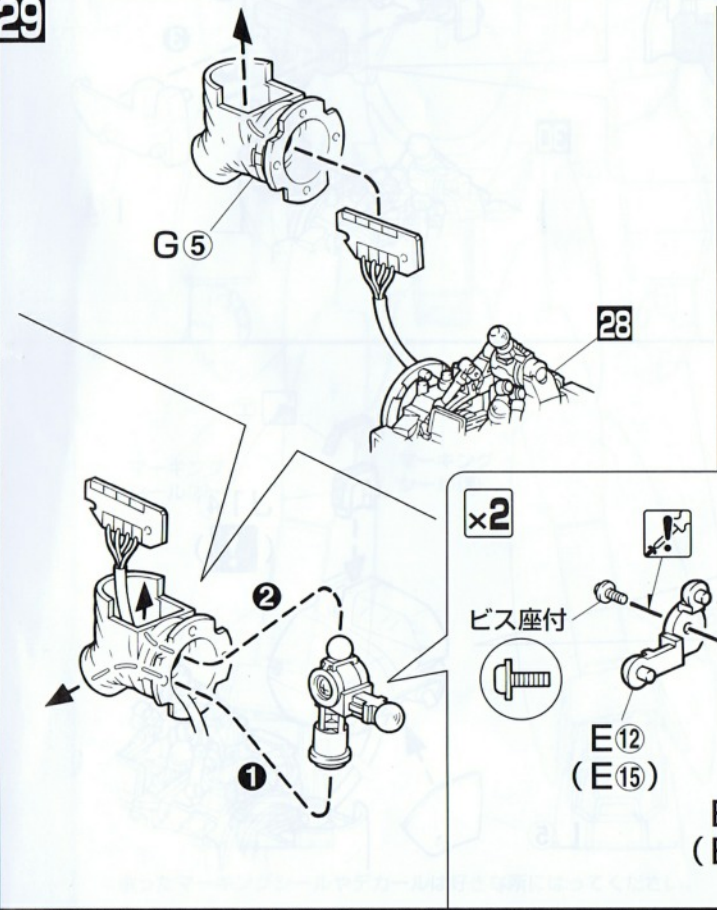
⚠ 注意

※静電気が流れ、部品が破壊される恐れがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生する為、電飾ユニットの取り付け、取り外しは、スチールキャビネットなどの金属性のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。
 ※LEDユニットのケーブルは無理な力を掛けて引っ張らない様に気をつけてください。破損の恐れがあります。

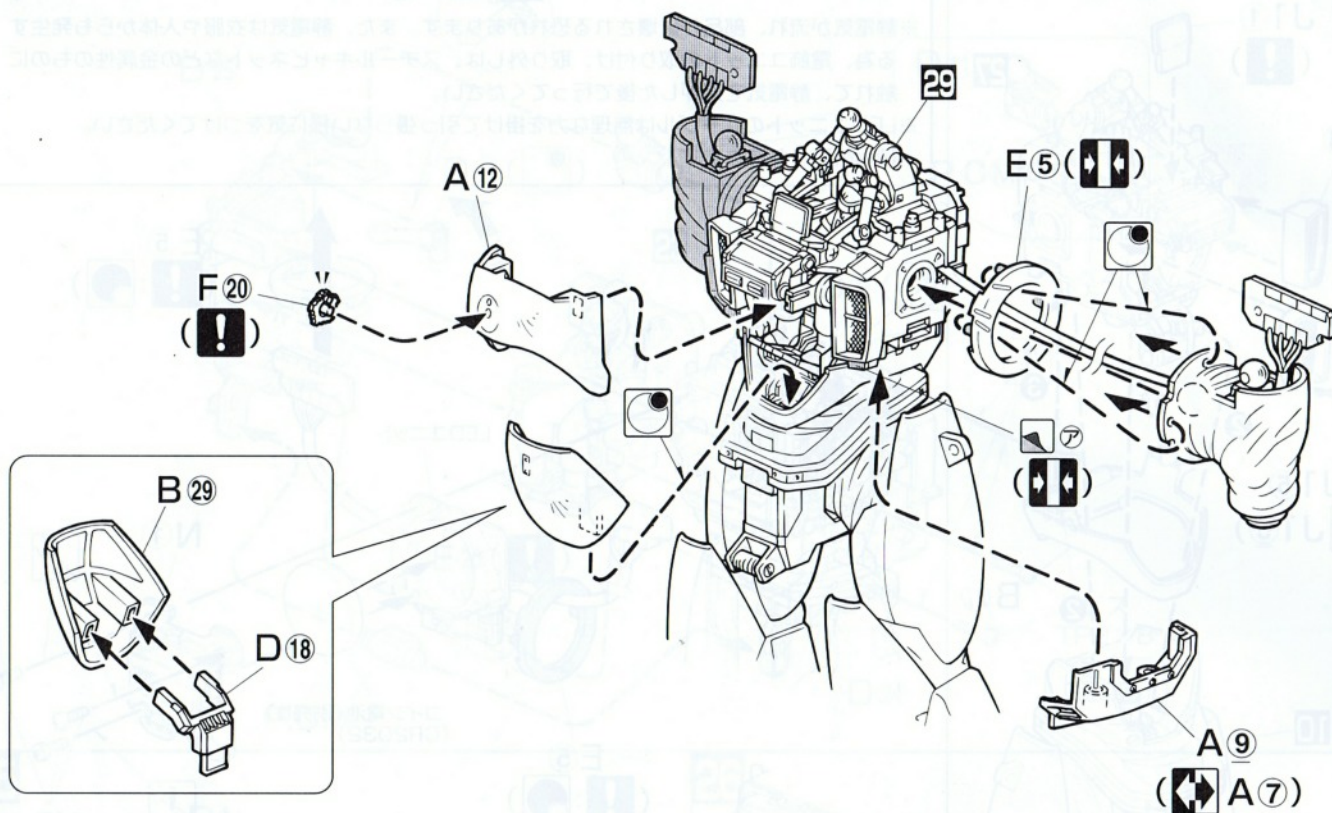


点灯テスト

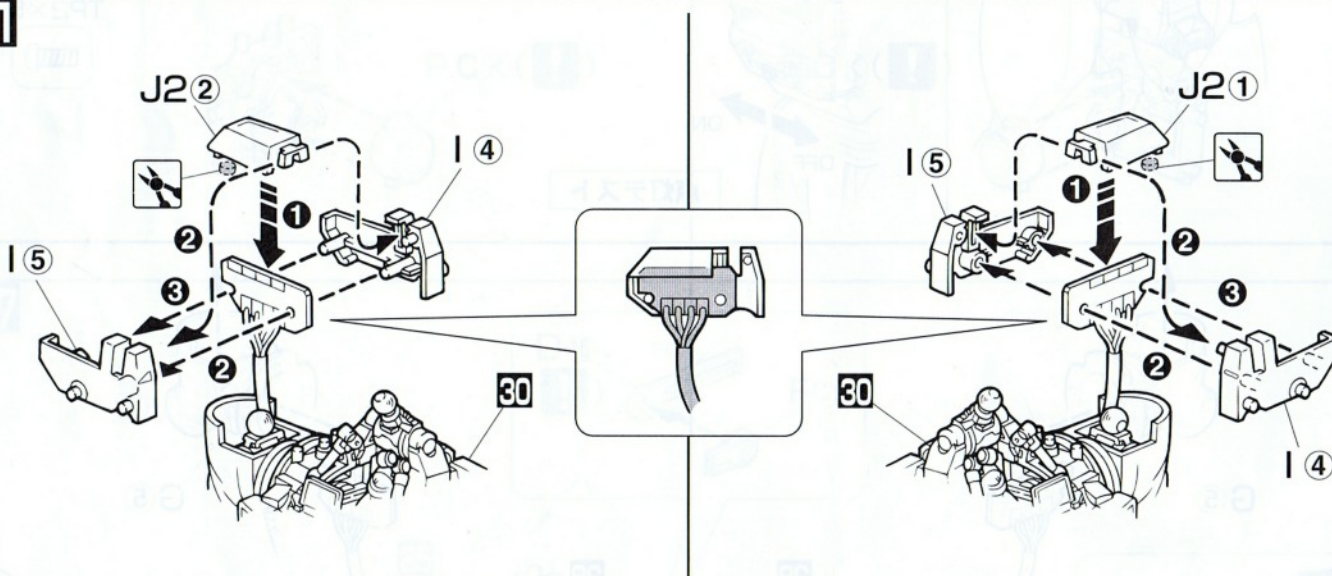
29



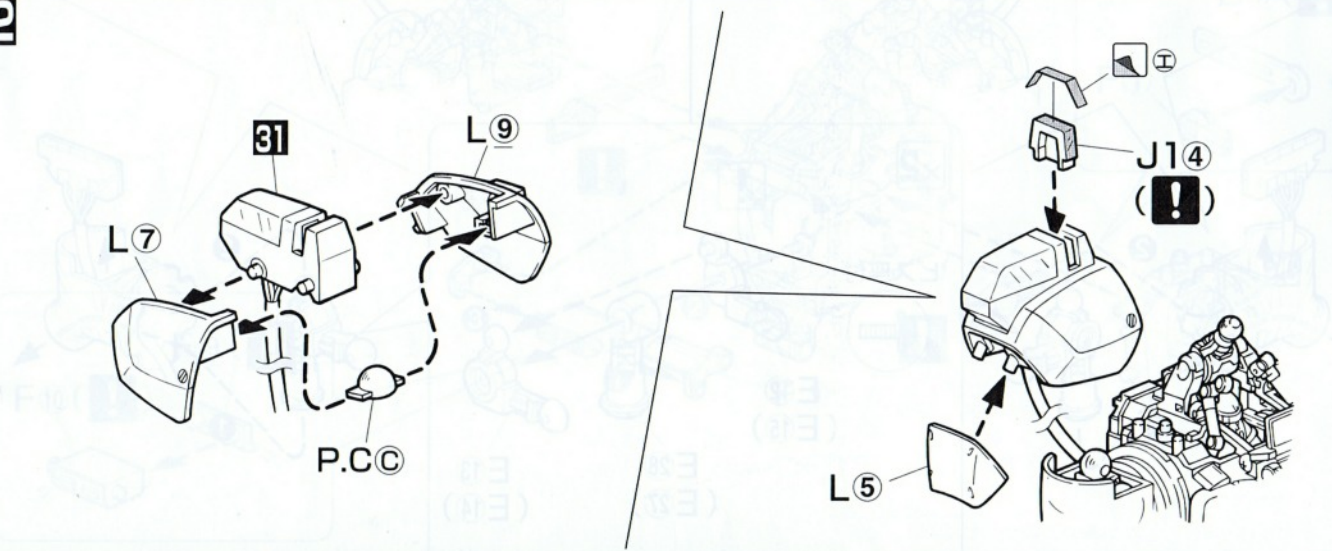
30



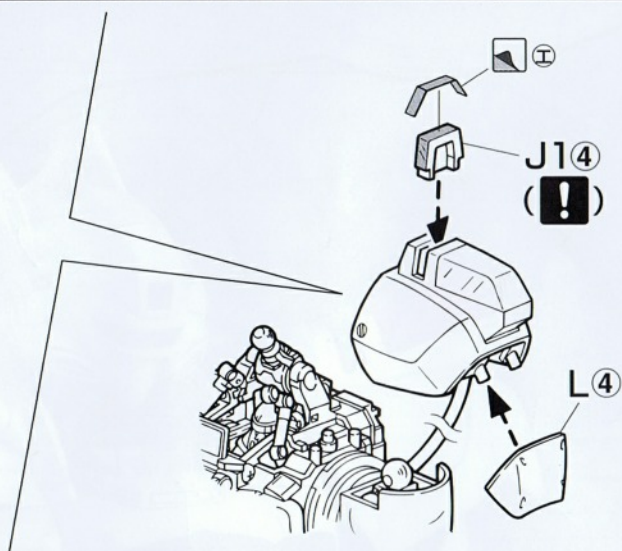
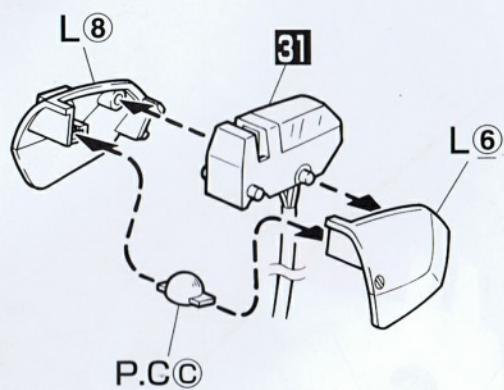
31



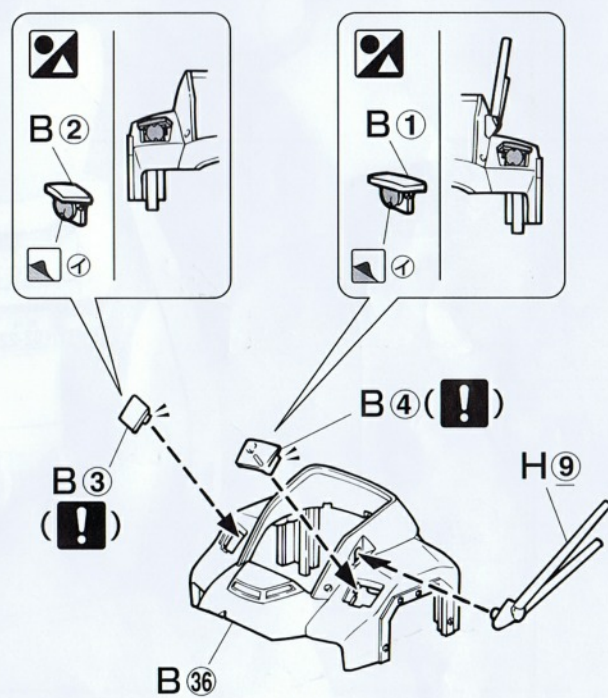
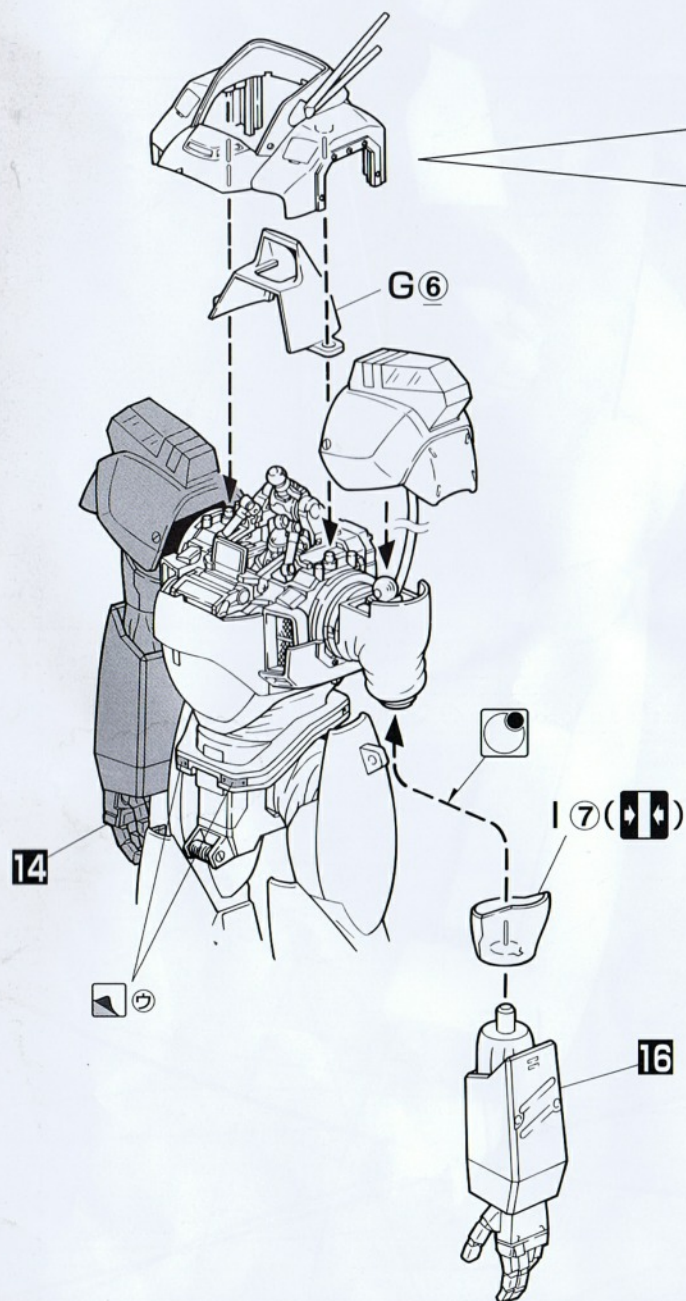
32



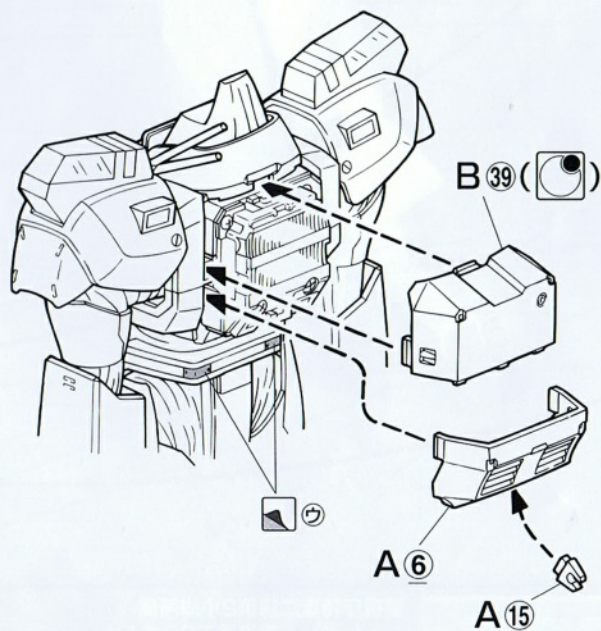
33



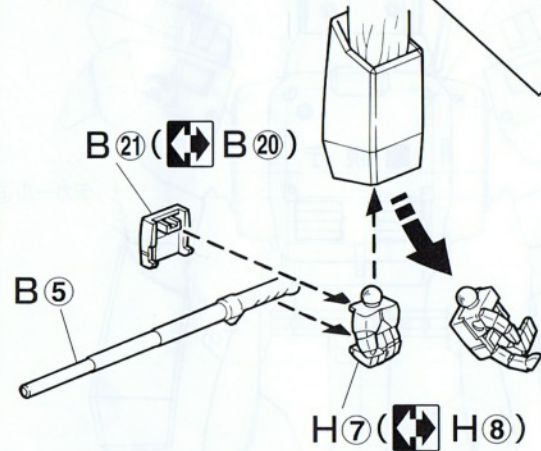
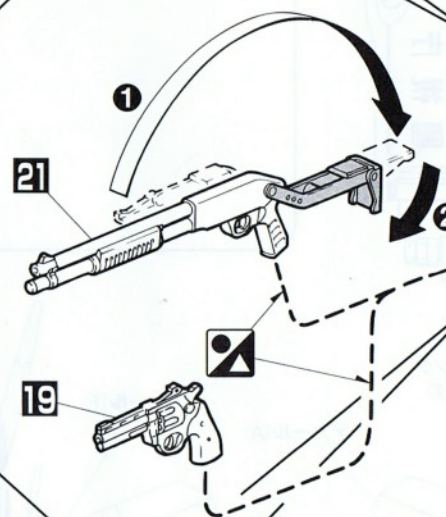
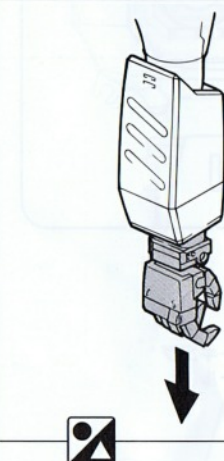
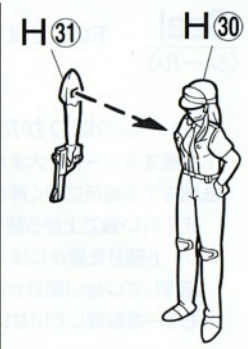
34



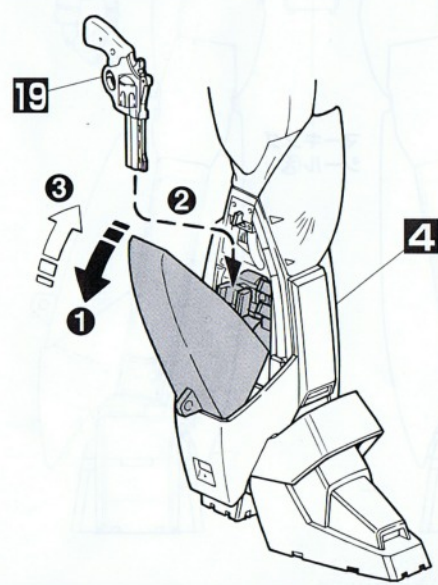
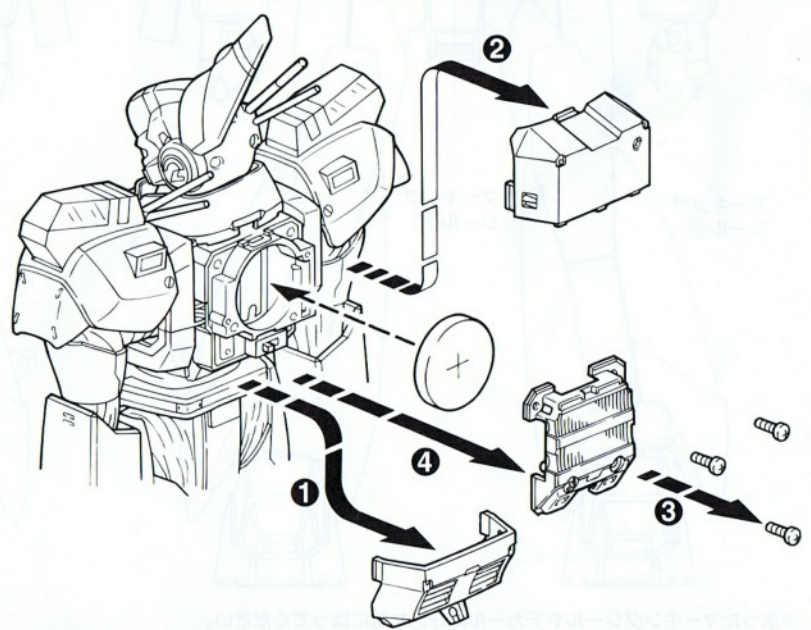
35



36



コイン電池「CR2032」(別売り)の交換方法



Main Police Labor project

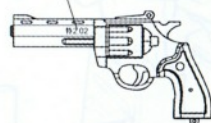
Seal

〈シール〉

下の図を見て、マーキングシールやデカールの貼る位置を確認してください。

デカールのはりかた。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

マーキング
シール⑤マーキング
シール⑥

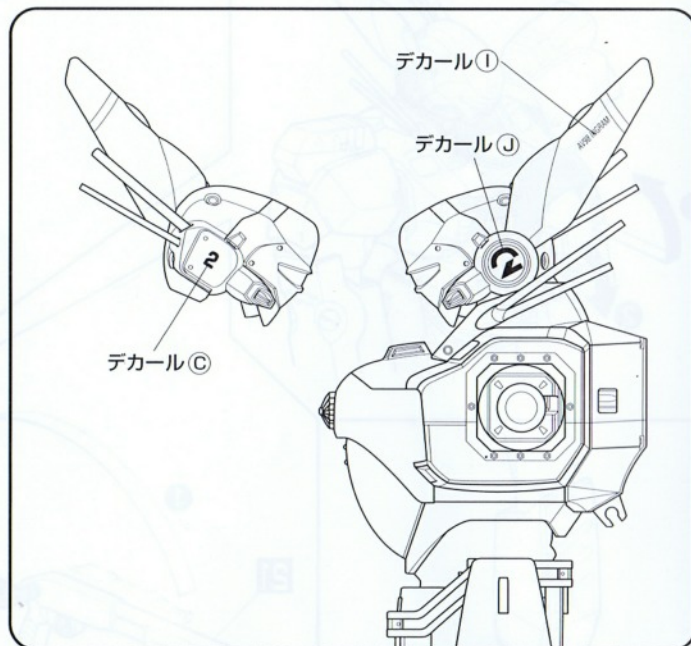
デカール⑤

デカール①
(反対側も同様)

デカール①

デカール④

デカール③

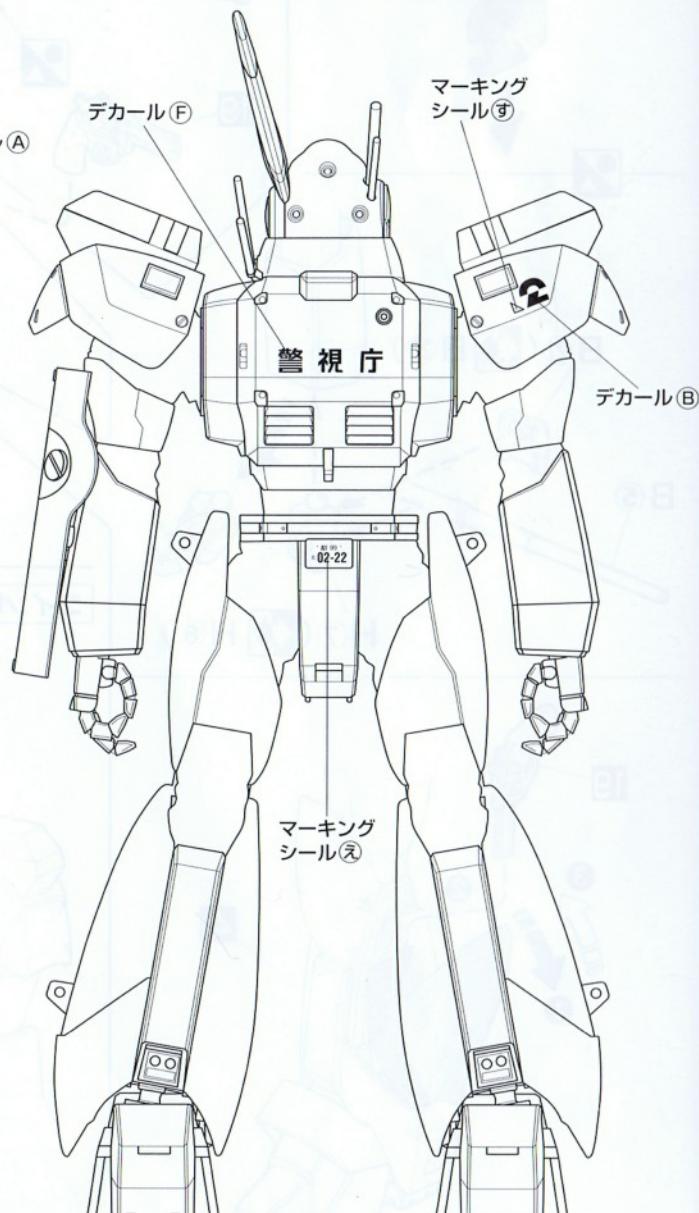
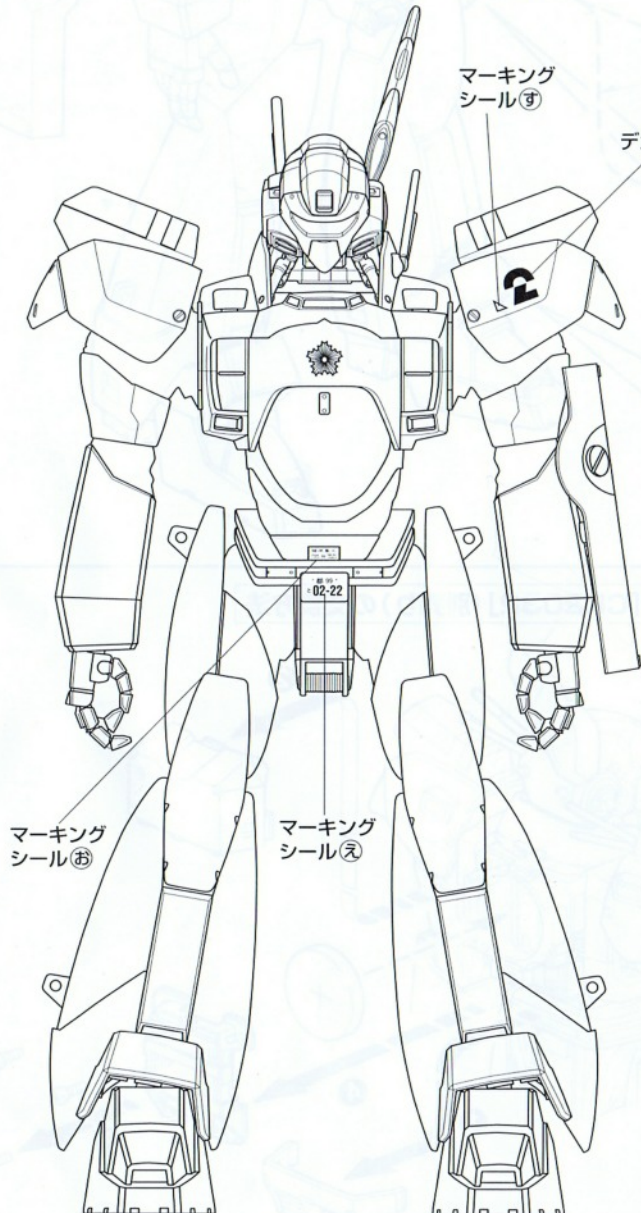
マーキング
シール④

デカール②

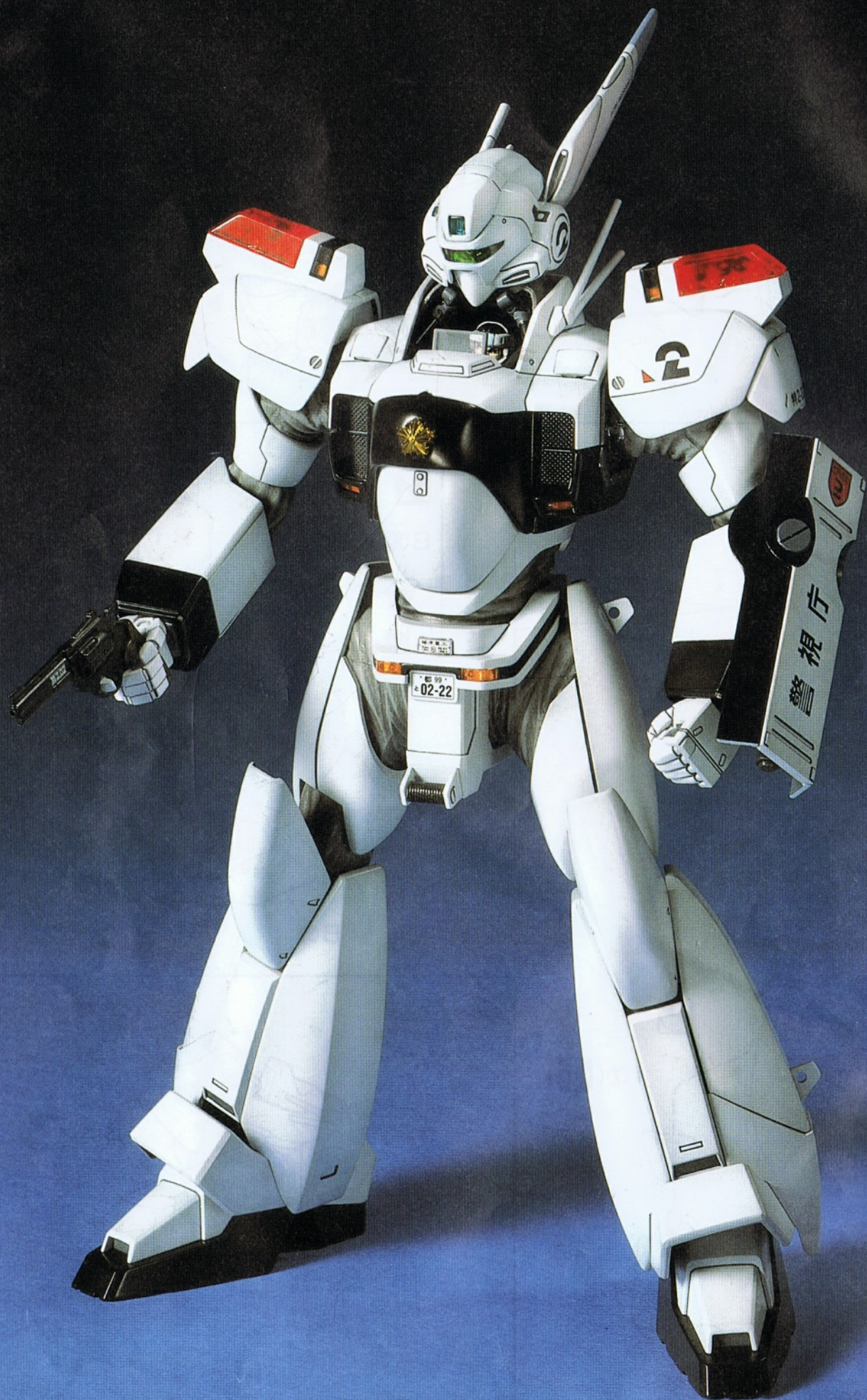
デカール⑥

マーキング
シール③

デカール⑧



※余ったマーキングシールやデカールは好きな所にはってください。



警視庁特車二課第2小隊所属
パトレイバー篠原重工98式AV
「WXIII版イングラム2号機」
1/35スケール マスターグレードモデル
点滅式パトランプLED電飾ユニット付

PATLABOR
Shinohara
AV-98

INGRAM2

